
阿賀野市まちづくり 市民アンケート調査結果報告書

平成 27 年3月

阿賀野市 市長政策課

目 次

I	調査の概要	1
1	調査目的	1
2	調査設計	1
3	回収結果及び地区区分	1
4	報告書の表し方	1
II	回答者の属性	2
1	性別	2
2	年齢別	2
3	居住地区別	2
4	職業別	3
5	家族人数別	3
6	家族構成別	5
7	居住年数別	5
III	調査結果の分析	6
1	阿賀野市の定住意識について	6
	・住みやすさ【問1】【問2】	6
	・定住の意向【問3】	12
	・阿賀野市の魅力【問4】	22
2	満足度と重要度について	25
	(1) 各施策の満足度【問5】	26
	(2) 各施策の重要度【問5】	27
	(3) 満足度・重要度項目別順位	28
	(4) 満足度における項目別傾向	29
	(5) 重要度における項目別傾向	29
	(6) ニーズ度分析	30
	(7) 満足度と重要度の関係	32
3	これからのまちづくりについて	34
	・まちのイメージ【問6】	34
	・まちづくりの姿(都市像)【問7】	38
	・人口減少対策【問8】	39
IV	調査票	42

I 調査の概要

1 調査目的

阿賀野市では、現行の「阿賀野市総合計画」の計画期間が平成 27 年度で終了するため、新たに総合計画（平成 28～32 年度）を策定します。そこで、市民の皆さんの行政ニーズや課題を把握し、その結果を次期総合計画に反映させることを目的に調査を実施しました。

2 調査設計

- (1) 調査地域 阿賀野市全域
- (2) 調査対象 阿賀野市に在住する 20 歳以上の方
- (3) 調査対象者数 3,000 人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送法（郵送配布、郵送回収）
- (6) 調査期間 平成 26 年 11 月 10 日～平成 26 年 12 月 1 日

3 回収結果及び地区区分

- ・配布数 3,000 票
- ・有効回収数 1,615 票（有効回収率 53.8%）

地区	配布数	回収票数	回収率
安田地区	642	346	53.9%
京ヶ瀬地区	504	274	54.4%
水原地区	1,307	704	53.9%
笹神地区	547	278	50.8%
無回答	—	13	—
合計	3,000	1,615	53.8%

4 報告書の表し方

- (1) 比率は百分率（%）で表し、小数点第 2 位を四捨五入しているため、数値の合計が 100.0%にならない場合があります。
- (2) 過去の調査結果と比較するため、今回調査の一部の設問（以下の設問）は、平成 19 年度及び平成 25 年度のアンケート調査と同じ設問としました。

〔比較調査項目〕

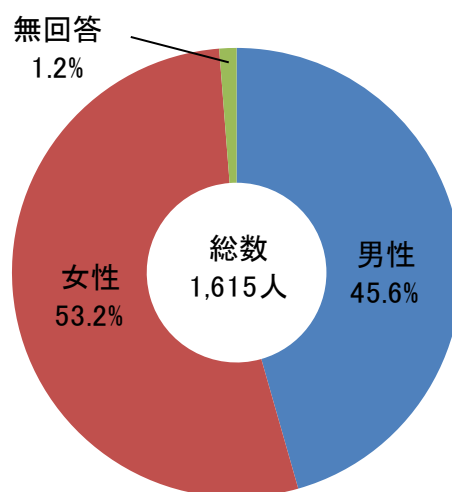
住みやすさ【問 1】、定住意向【問 3】、各施策の満足度・重要度【問 5】

過去の調査	配布数	有効回収数	有効回収率
平成 19 年 9 月 10 日～平成 19 年 9 月 30 日	3,000 票	1,147 票	38.2%
平成 25 年 2 月 1 日～平成 25 年 2 月 20 日	3,000 票	1,436 票	47.9%

Ⅱ 回答者の属性

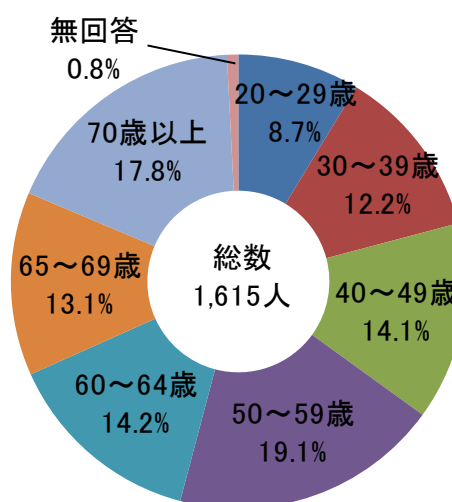
1 性別

	実数	割合
男性	736	45.6%
女性	859	53.2%
無回答	20	1.2%
合計	1,615	100.0%



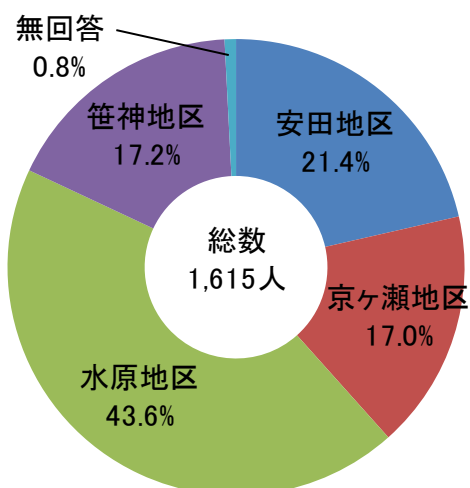
2 年齢別

	実数	割合
20歳代	140	8.7%
30歳代	197	12.2%
40歳代	228	14.1%
50歳代	309	19.1%
60～64歳	229	14.2%
65～69歳	211	13.1%
70歳以上	288	17.8%
無回答	13	0.8%
合計	1,615	100.0%



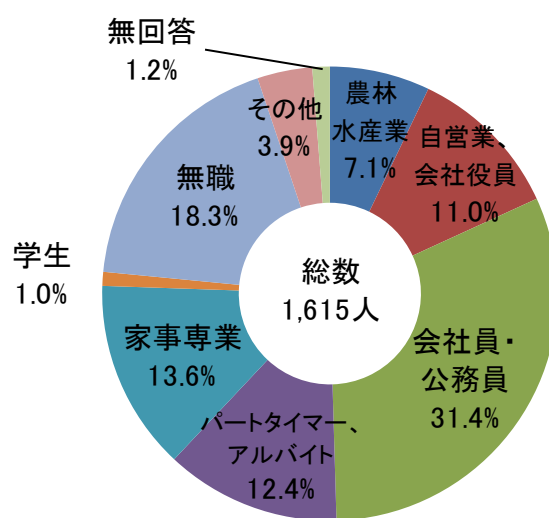
3 居住地区別

	実数	割合
安田地区	346	21.4%
京ヶ瀬地区	274	17.0%
水原地区	704	43.6%
笹神地区	278	17.2%
無回答	13	0.8%
合計	1,615	100.0%



4 職業別

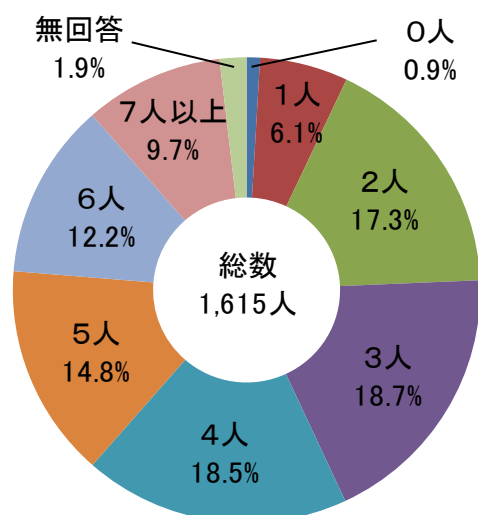
	実数	割合
農林水産業	115	7.1%
自営業・会社役員	178	11.0%
会社員・公務員等	507	31.4%
パートタイマー・アルバイト等	201	12.4%
家事専業	219	13.6%
学生	16	1.0%
無職	296	18.3%
その他	63	3.9%
無回答	20	1.2%
合計	1,615	100.0%



5 同居家族人数別

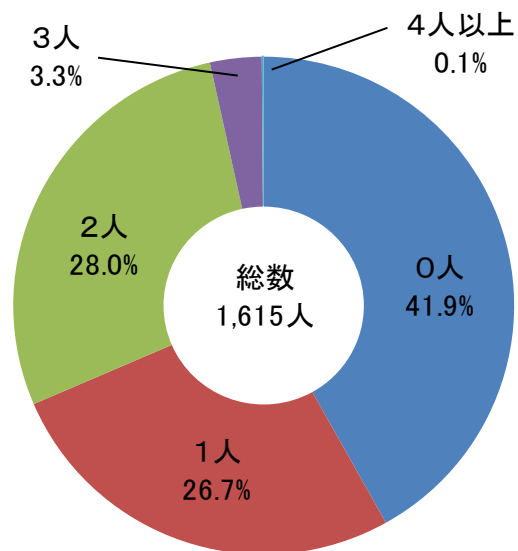
(1) 同居家族人数

	実数	割合
0人	15	0.9%
1人	99	6.1%
2人	279	17.3%
3人	302	18.7%
4人	298	18.5%
5人	239	14.8%
6人	197	12.2%
7人	104	9.7%
8人	40	
9人	8	
10人	4	
無回答	30	1.9%
合計	1,615	100.0%



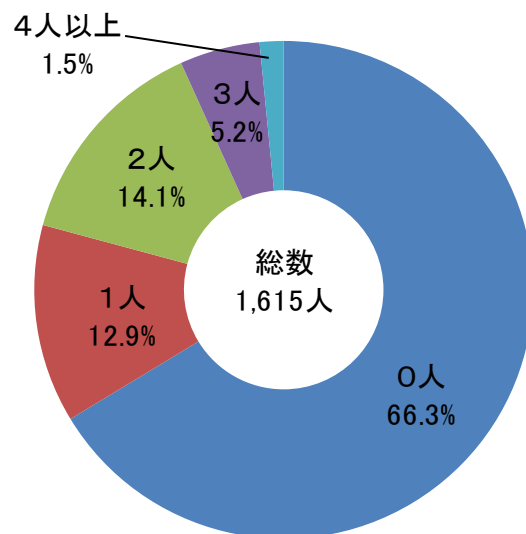
(2) 65歳以上の同居家族人数

	実数	割合
0人	676	41.9%
1人	431	26.7%
2人	452	28.0%
3人	54	3.3%
4人	2	0.1%
合計	1,615	100.0%



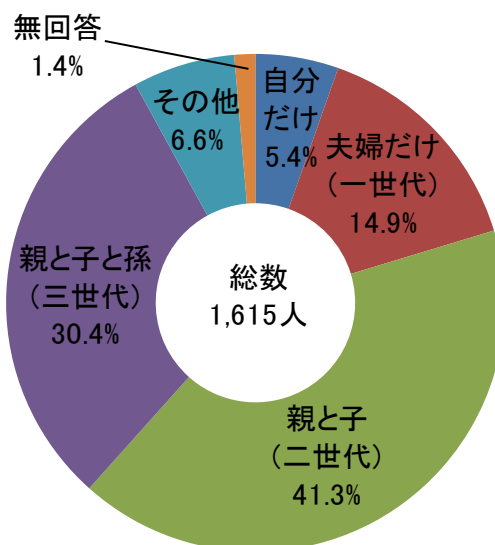
(3) 18歳以下の同居家族人数

	実数	割合
0人	1,071	66.3%
1人	208	12.9%
2人	227	14.1%
3人	84	5.2%
4人	18	1.5%
5人	6	
6人	1	
合計	1,615	100.0%



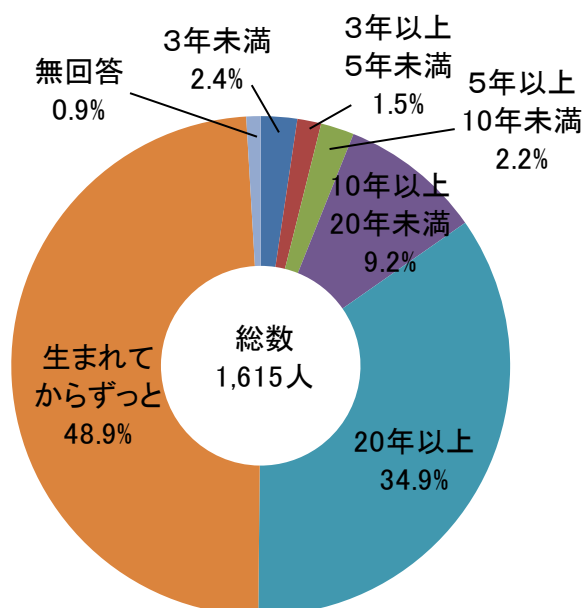
6 同居家族構成別

	実数	割合
自分だけ	87	5.4%
夫婦だけ(一世代)	241	14.9%
親と子(二世代)	667	41.3%
親と子と孫(三世代)	491	30.4%
その他	107	6.6%
無回答	22	1.4%
合計	1,615	100.0%



7 居住年数別

	実数	割合
3年未満	38	2.4%
3年以上5年未満	25	1.5%
5年以上10年未満	35	2.2%
10年以上20年未満	149	9.2%
20年以上	563	34.9%
生まれてからずっと	790	48.9%
無回答	15	0.9%
合計	1,615	100.0%



Ⅲ 調査結果の分析

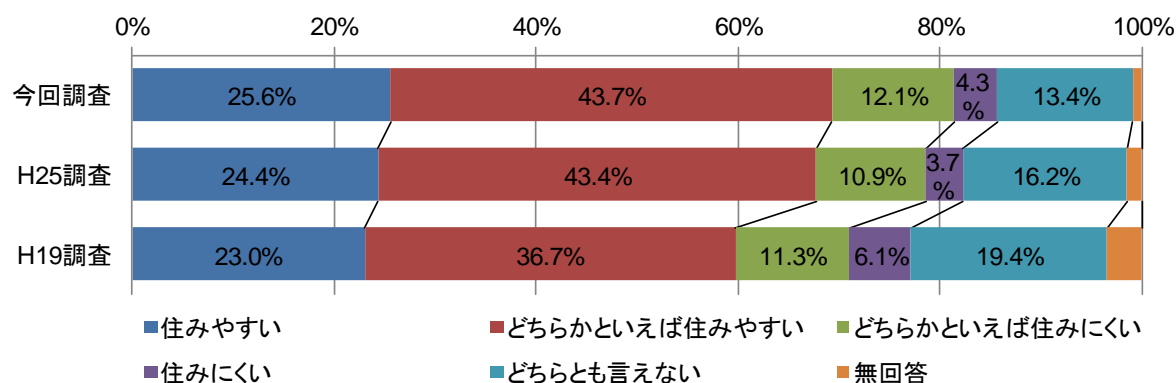
1 阿賀野市の定住意識について

問1 あなたは、阿賀野市を住みやすいところだと思いますか。(〇は1つ)

(1) 単純集計【全体】

「どちらかといえば住みやすい」が43.7%と最も高く、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合(以下「住みやすい合計」と表記します。)は約7割となっています。

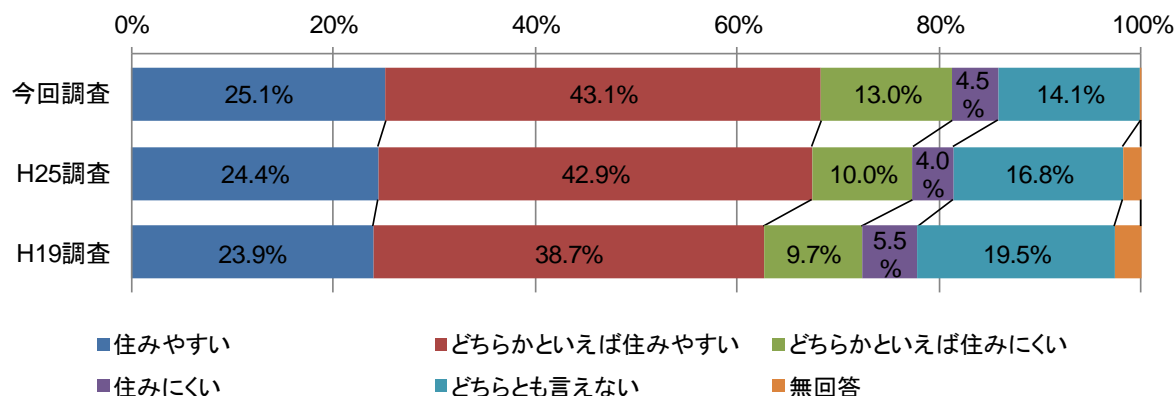
前回調査(平成25年調査)より1.5%増加していますが、全体としては大きな変化は見られません。



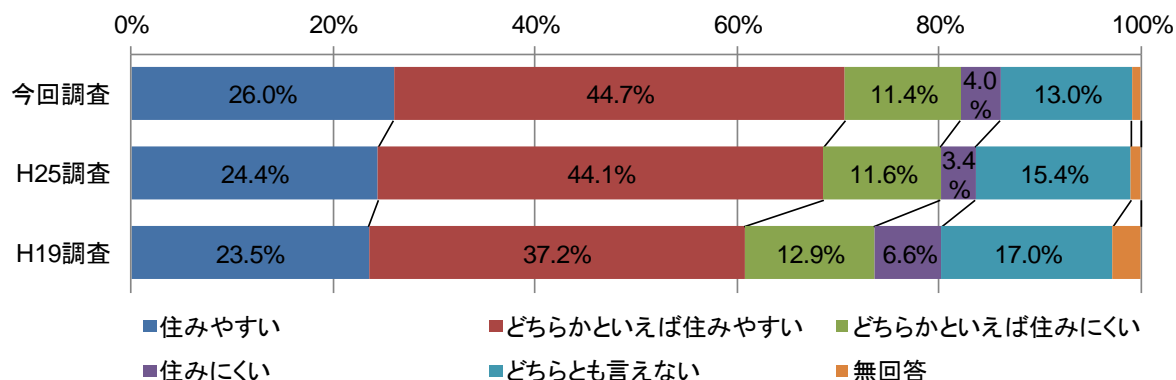
(2) 性別

性別で見ると、特に大きな違いは見られません。

男性



女性

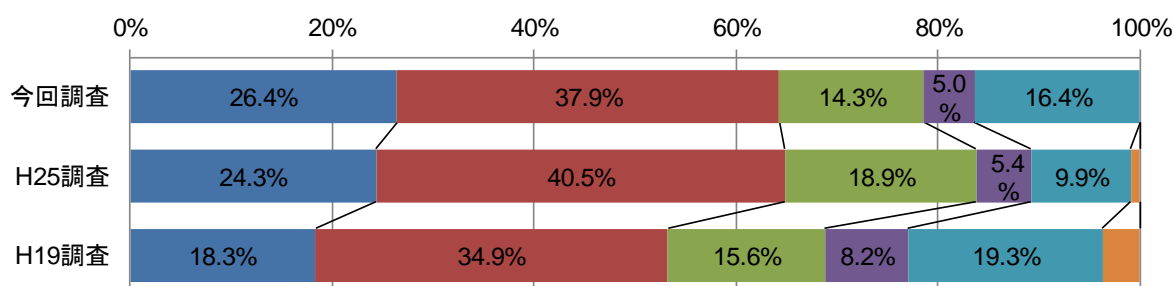


(3) 年齢別

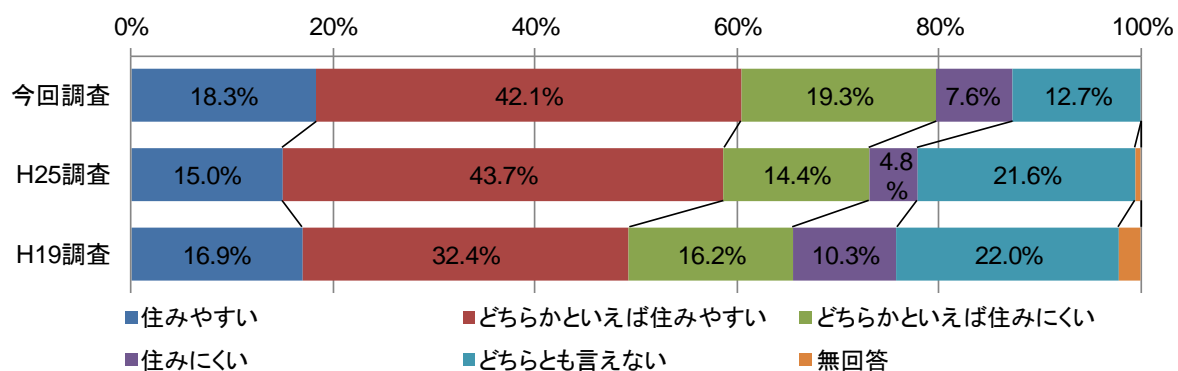
年代別でみると、「住みやすい合計」は、ほぼ年代に比例して増加しており、「60歳代」、「70歳以上」では7割台となっていますが、「30歳代」では約6割にとどまります。

前回調査との比較では、「住みやすい合計」が「40歳代」で10.1%増加、「70歳以上」で6.8%増加しているのに対し、「60歳代」では2.9%減少しています。

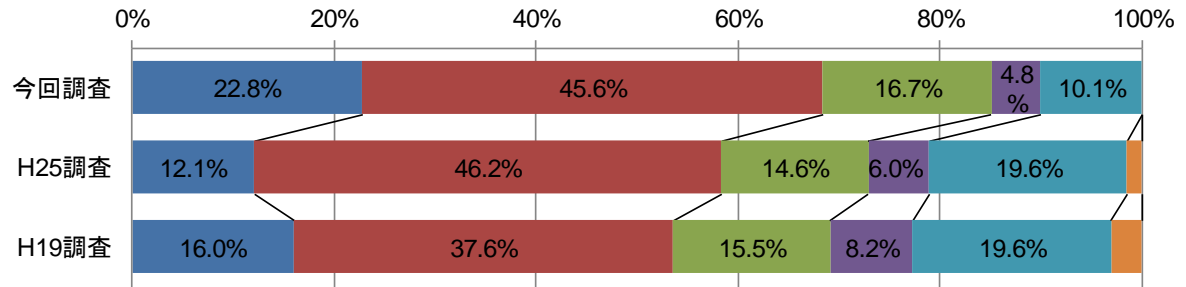
20歳代



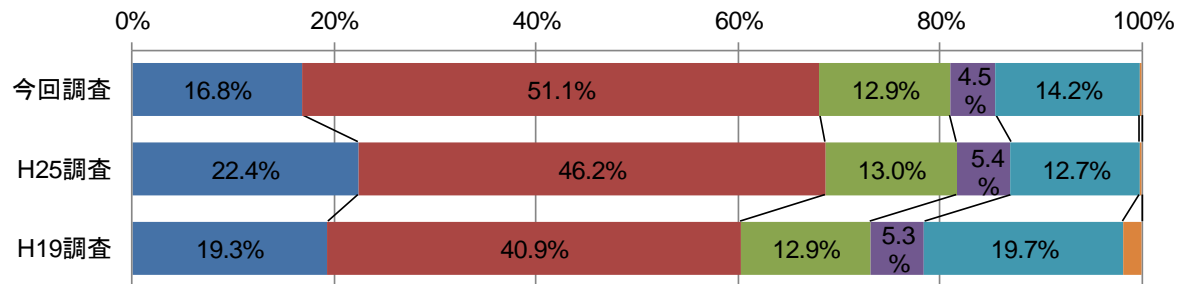
30歳代



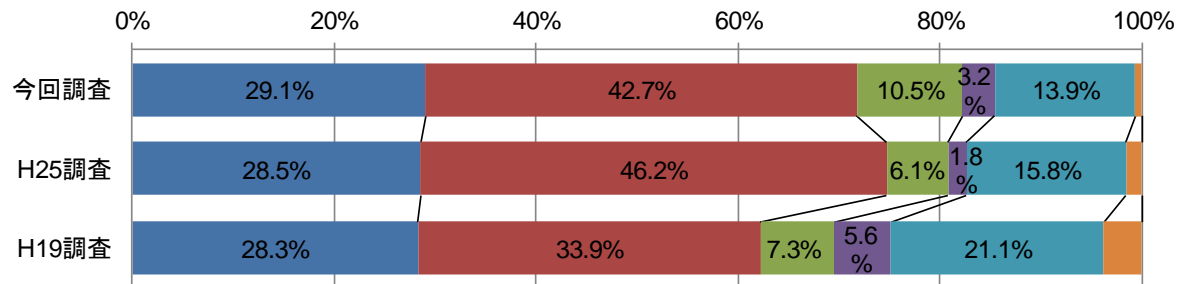
40 歳代



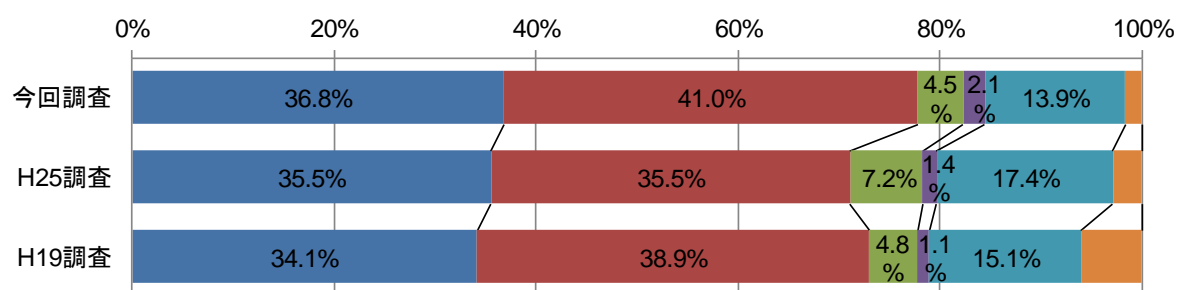
50 歳代



60 歳代



70 歳以上



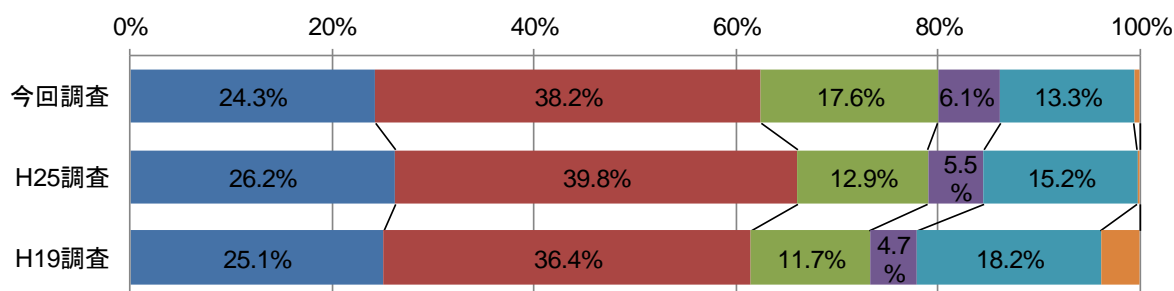
- 住みやすい
- どちらかといえば住みやすい
- どちらかといえば住みにくい
- 住みにくい
- どちらとも言えない
- 無回答

(4) 地区別

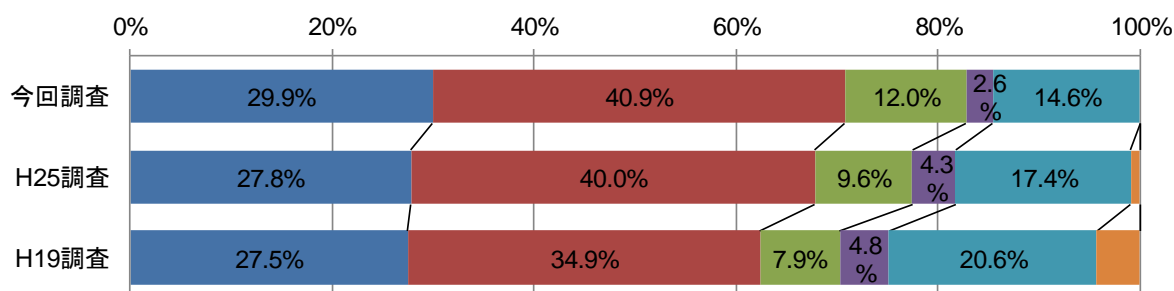
地区別で見ると、「住みやすい合計」が水原地区で74.7%と最も高く、次いで京ヶ瀬地区が70.8%、安田地区、笹神地区では60%台となっています。

前回調査と比較すると、「住みやすい」、「住みやすい合計」とともに、京ヶ瀬地区、水原地区、笹神地区では増加している一方、安田地区は減少しています。

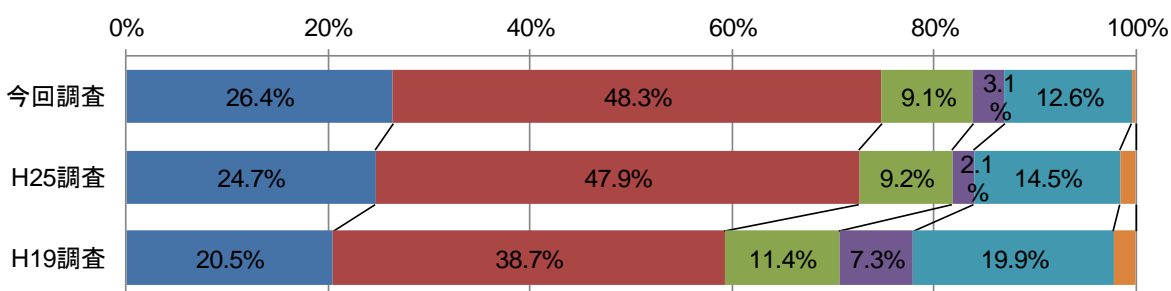
安田地区



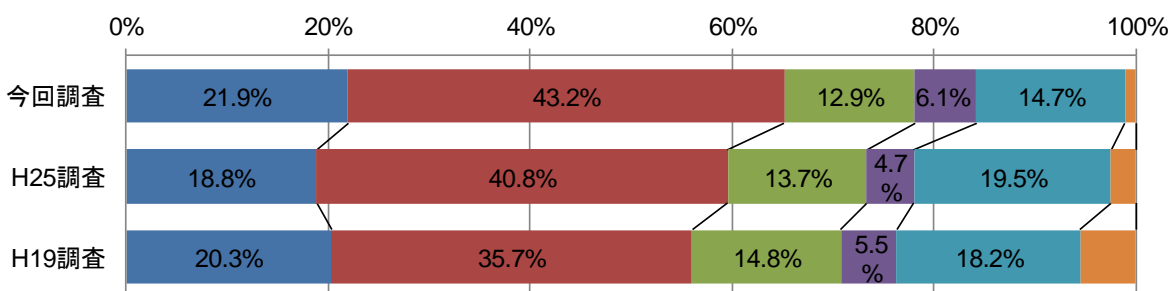
京ヶ瀬地区



水原地区



笹神地区



■住みやすい ■どちらかといえば住みやすい ■どちらかといえば住みにくい
 ■住みにくい ■どちらとも言えない ■無回答

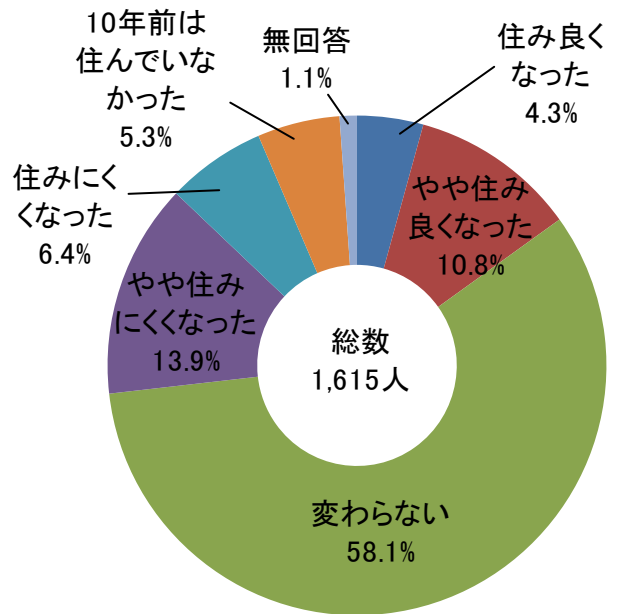
問2 10年前に阿賀野市が誕生いたしました。以前（10年前）と比べて、阿賀野市は住み良いまちになりましたか。（〇は1つ）

（1）単純集計【全体】

「変わらない」が58.1%と過半数を超え、6割弱となっています。

また、「住み良くなった」「やや住み良くなった」を合わせた割合（以下「住み良くなった合計」と表記します。）と、「住みにくくなった」「やや住みにくくなった」を合わせた割合（以下「住みにくくなった合計」と表記します。）との比較では、「住みにくくなった合計」の方が5.2%高くなっています。

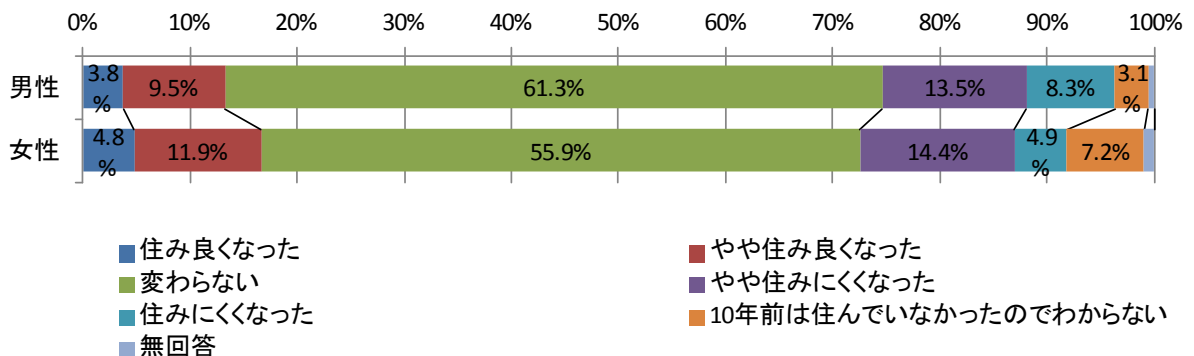
	実数	割合
住みよくなった	69	4.3%
やや住みよくなった	174	10.8%
変わらない	939	58.1%
やや住みにくくなった	225	13.9%
住みにくくなった	104	6.4%
10年前は住んでいなかった のでわからない	86	5.3%
無回答	18	1.1%
合計	1,615	100.0%



（2）性別

性別で見ると、「住み良くなった合計」は、男性が13.3%、女性が16.7%と、女性が3.4%高い割合となっています。

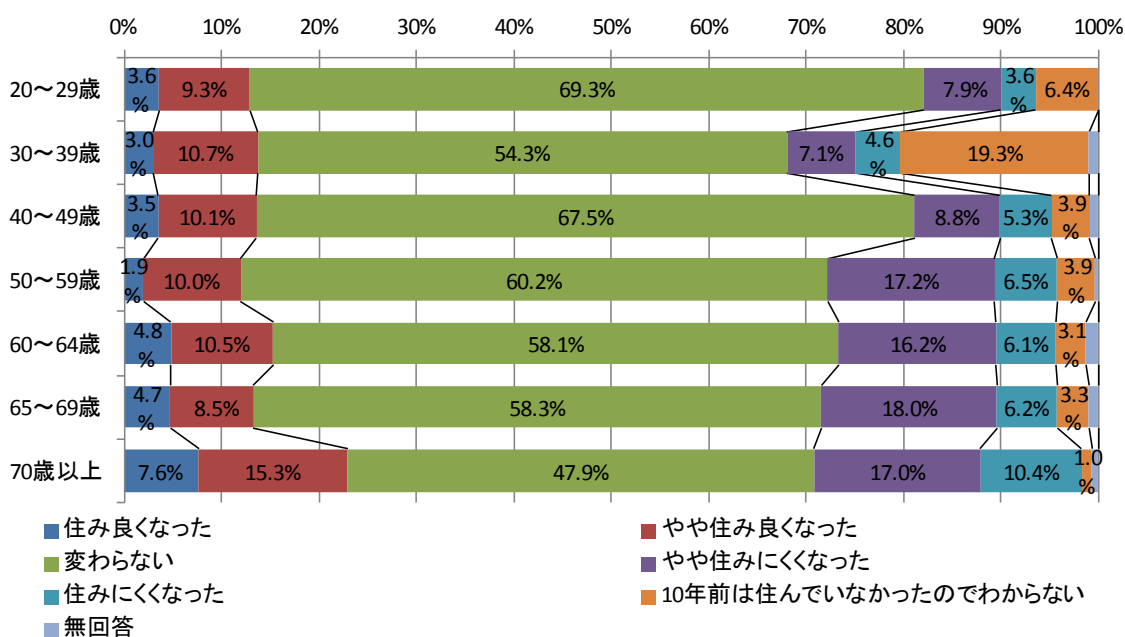
反対に「住みにくくなった合計」では、男性が21.8%、女性が19.3%と、男性が2.5%高い割合となっています。



(3) 年齢別

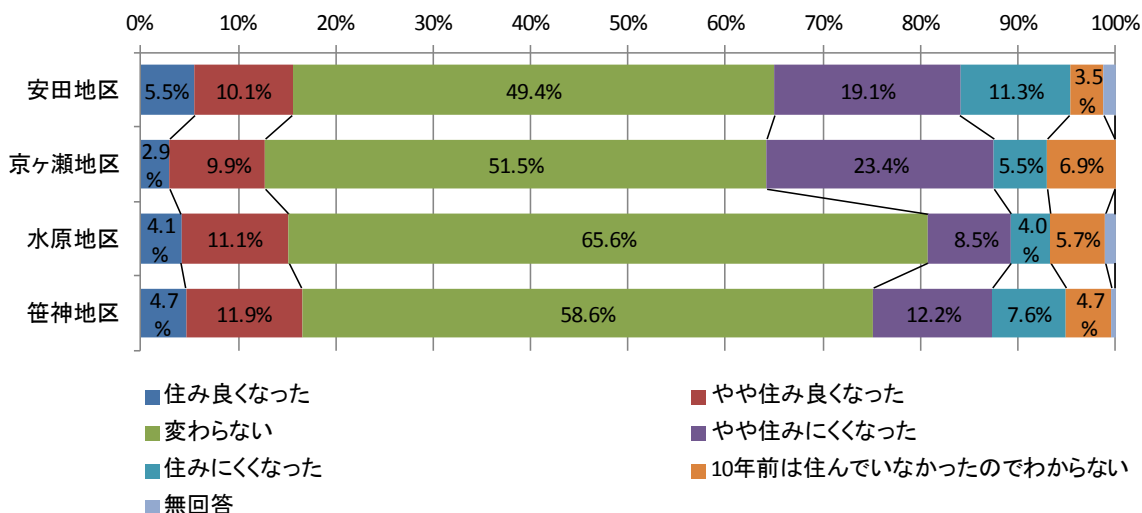
「10年前は住んでいなかったのが「30歳代」で19.3%と高く、この年代の約2割の方が阿賀野市の誕生後に居住を始められていることがうかがえます。

また、「70歳以上」において、「住み良くなった合計」と「住みにくくなった合計」の両方がそれぞれ22.9%、27.4%と最も高くなっています。これは、「変わらない」と「10年前は住んでいなかったのがわからない」の割合が他の年代と比べて小さく、回答が明確化しているためと判断できます。



(4) 地区別

地区別では、「住み良くなった合計」の割合が最も高いのは、笹神地区で16.6%、次いで安田地区が15.6%、水原地区が15.2%、京ヶ瀬地区が12.8%の順となっています。

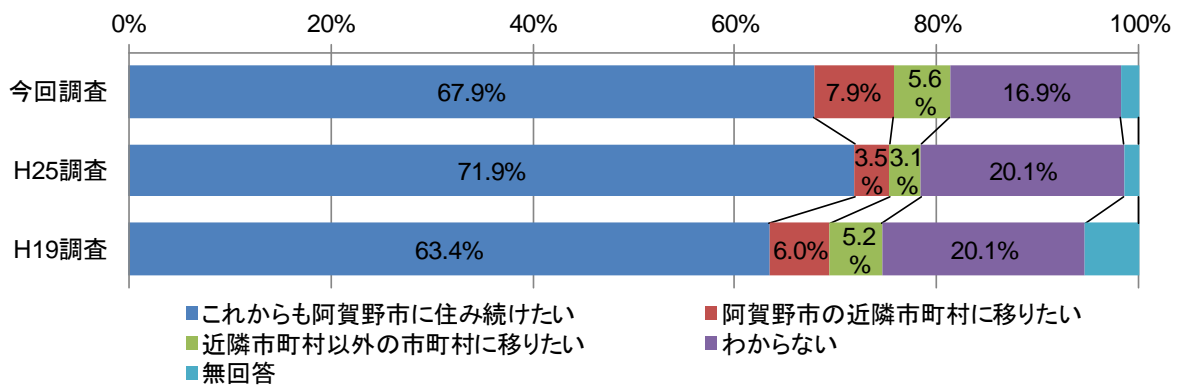


問3 あなたは、これからも阿賀野市に住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)

(1) 単純集計【全体】

「これからも阿賀野市に住み続けたい」(以下「住み続けたい」と表記します。)は67.9%となっており、前回調査より4.0%減少しています。

「阿賀野市の近隣市町村に移りたい」と「近隣市町村以外の市町村に移りたい」を合わせた割合(以下「移りたい合計」と表記します。)が13.5%と、前回調査の6.6%と比較して2倍以上に増加しています。



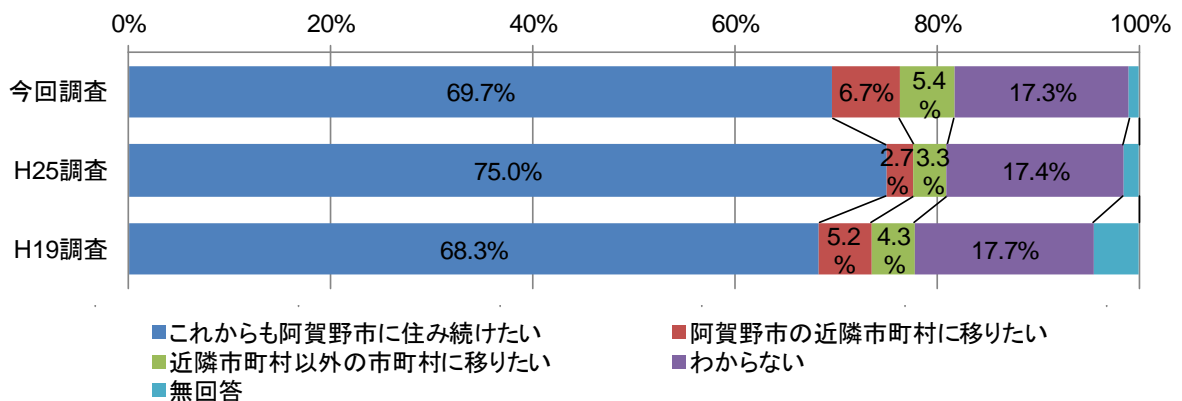
(2) 性別

「住み続けたい」は、男性が69.7%、女性が66.6%と、男性が3.1%高くなっています。

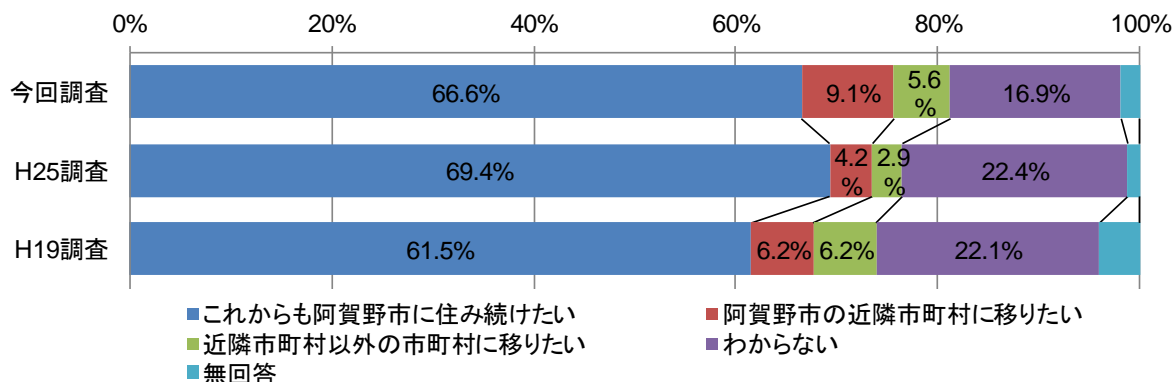
反対に「移りたい合計」では、男性が12.1%、女性が14.7%と、女性が2.6%高くなっています。

前回調査との比較では、男性と女性ともに「住み続けたい」が減少し、「移りたい合計」が増加しています。

男性



女性



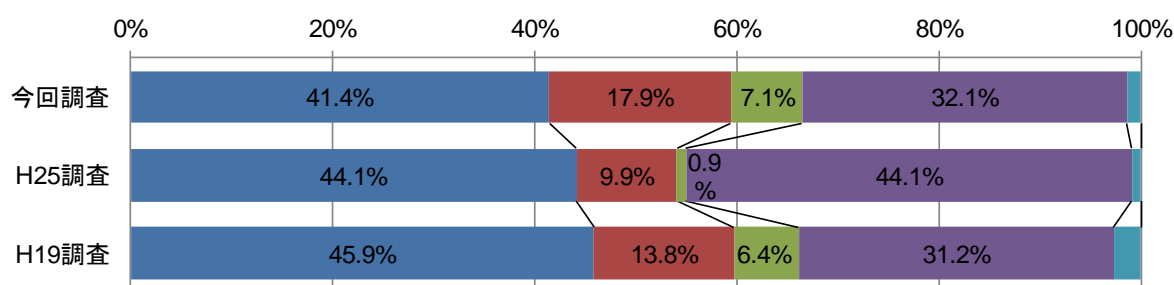
(3) 年齢別

「住み続けたい」の高い順に「70歳以上」が87.2%、「60歳代」が77.7%、「50歳代」が69.6%、「40歳代」が57.9%などとなっており、年齢が高いほど「住み続けたい」と感じている傾向にあります。

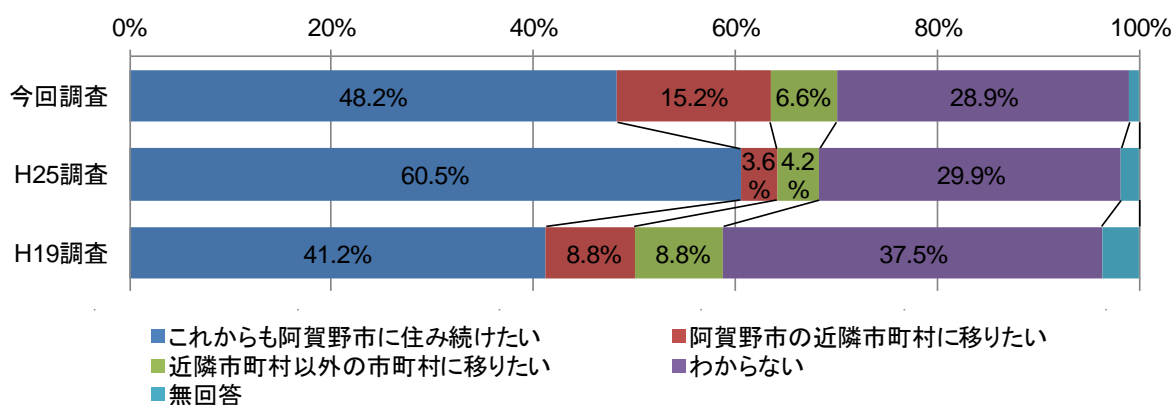
しかし、前回調査との比較では、「住み続けたい」は「60歳代」までの全ての年代において減少し、特に「30歳代」では12.3%の減少となっています。

また、「移りたい合計」は、「70歳以上」も含めた全ての年代において前回調査より増加し、「20歳代」「30歳代」の若い世代だけでなく、「50歳代」以上の年代でも顕著となっています。

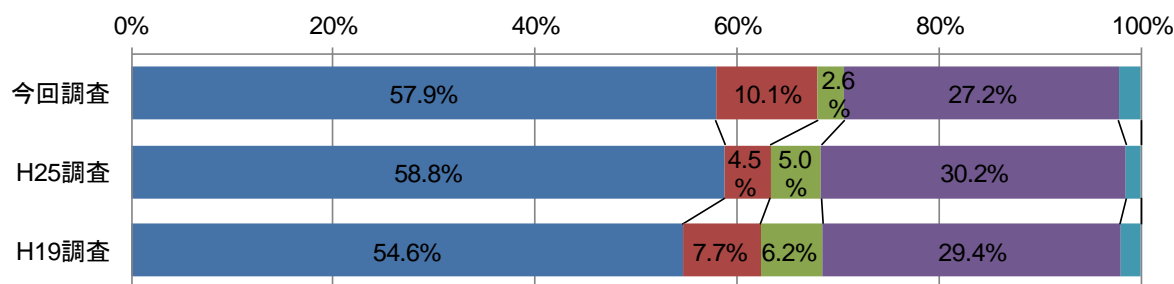
20歳代



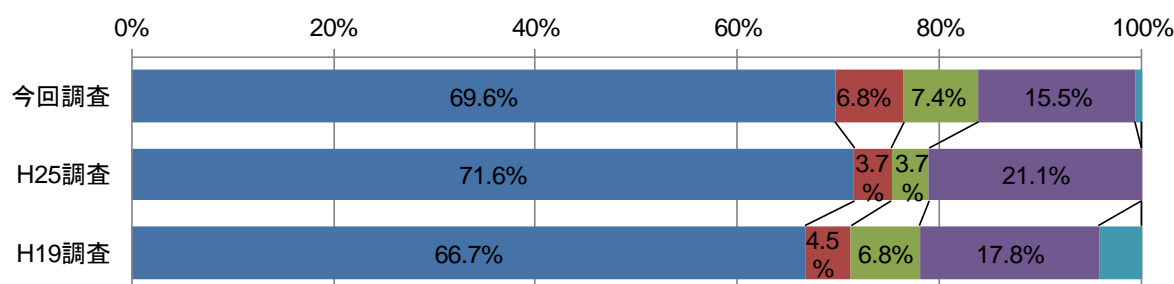
30歳代



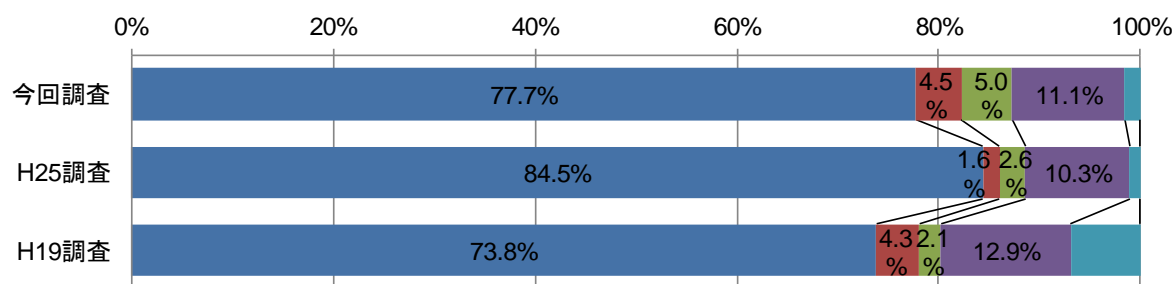
40 歳代



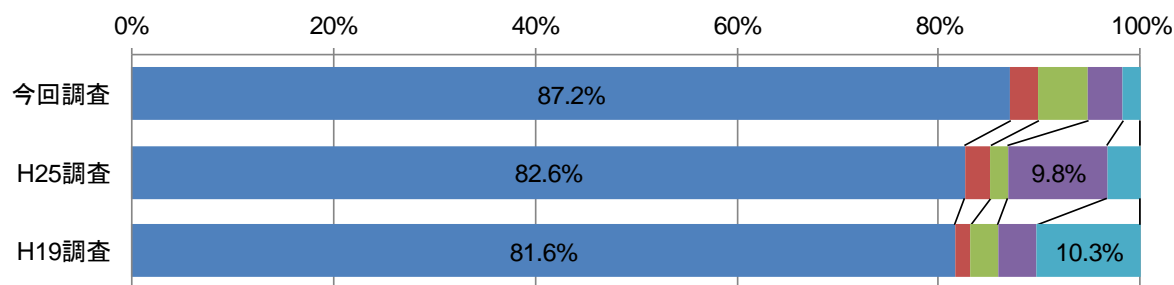
50 歳代



60 歳代



70 歳以上

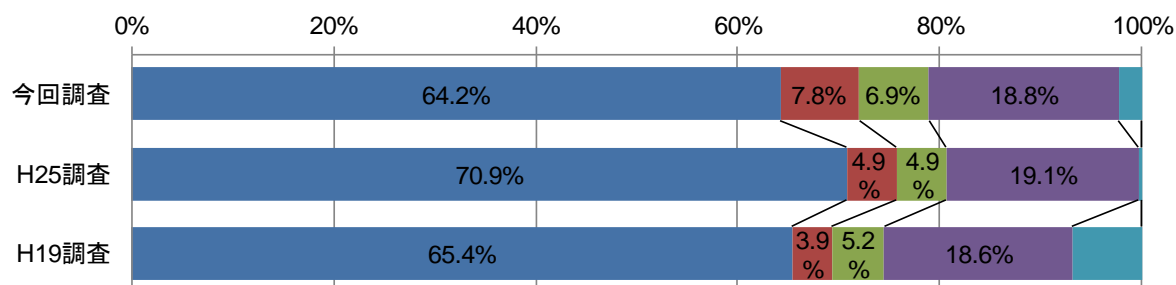


- これからも阿賀野市に住み続けたい
- 阿賀野市の近隣市町村に移りたい
- 近隣市町村以外の市町村に移りたい
- わからない
- 無回答

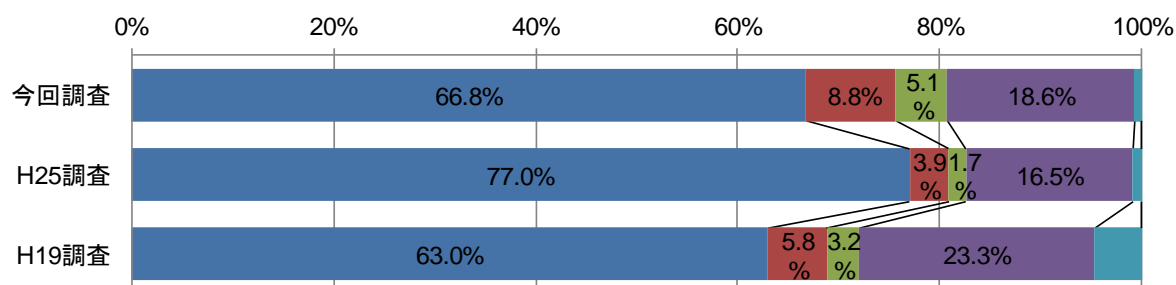
(4) 地区別

地区別では、「住み続けたい」の割合が最も高いのは、水原地区で72.2%、次いで京ヶ瀬地区66.8%、笹神地区64.7%、安田地区64.2%の順となっています。

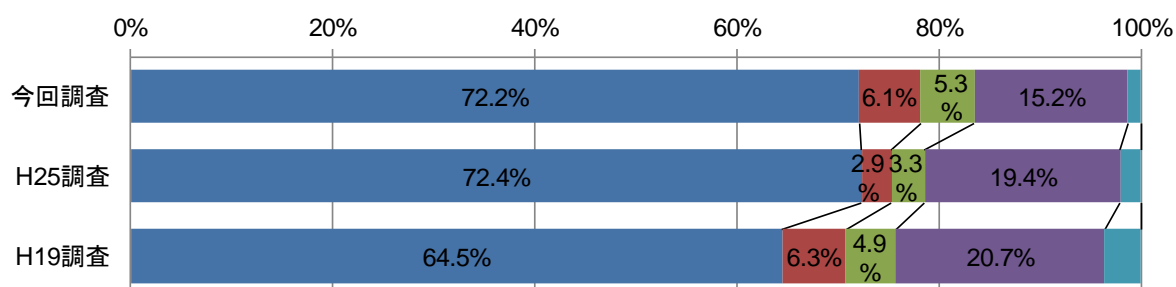
安田地区



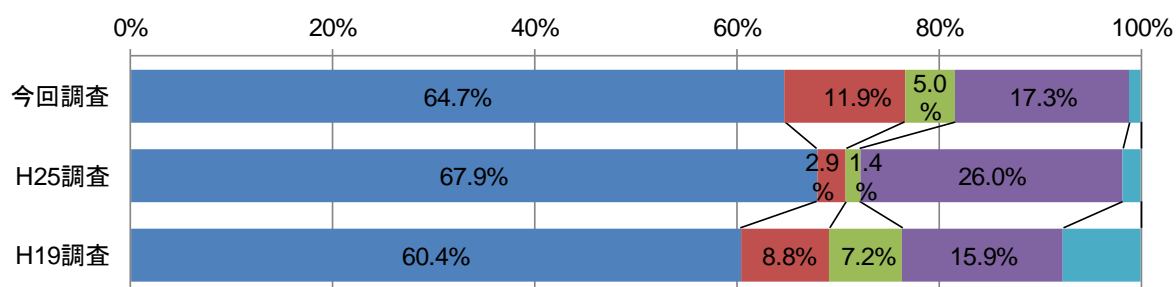
京ヶ瀬地区



水原地区



笹神地区

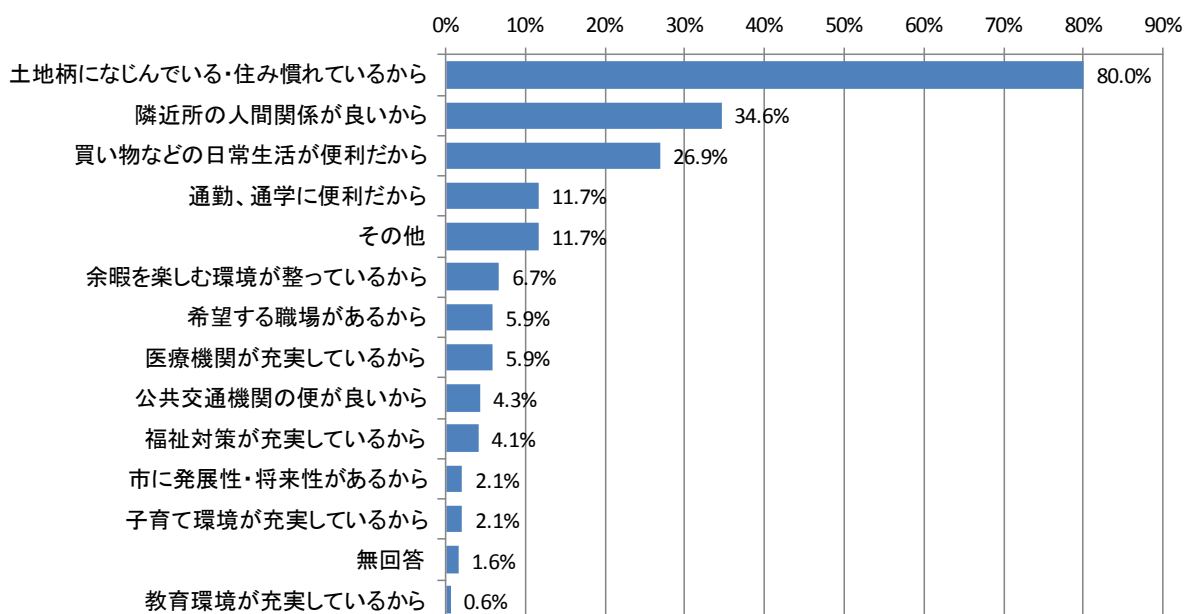


- これからも阿賀野市に住み続けたい
- 阿賀野市の近隣市町村に移りたい
- 近隣市町村以外の市町村に移りたい
- わからない
- 無回答

問3-2 住み続けたいと思う理由は何ですか。(〇は3つまで)

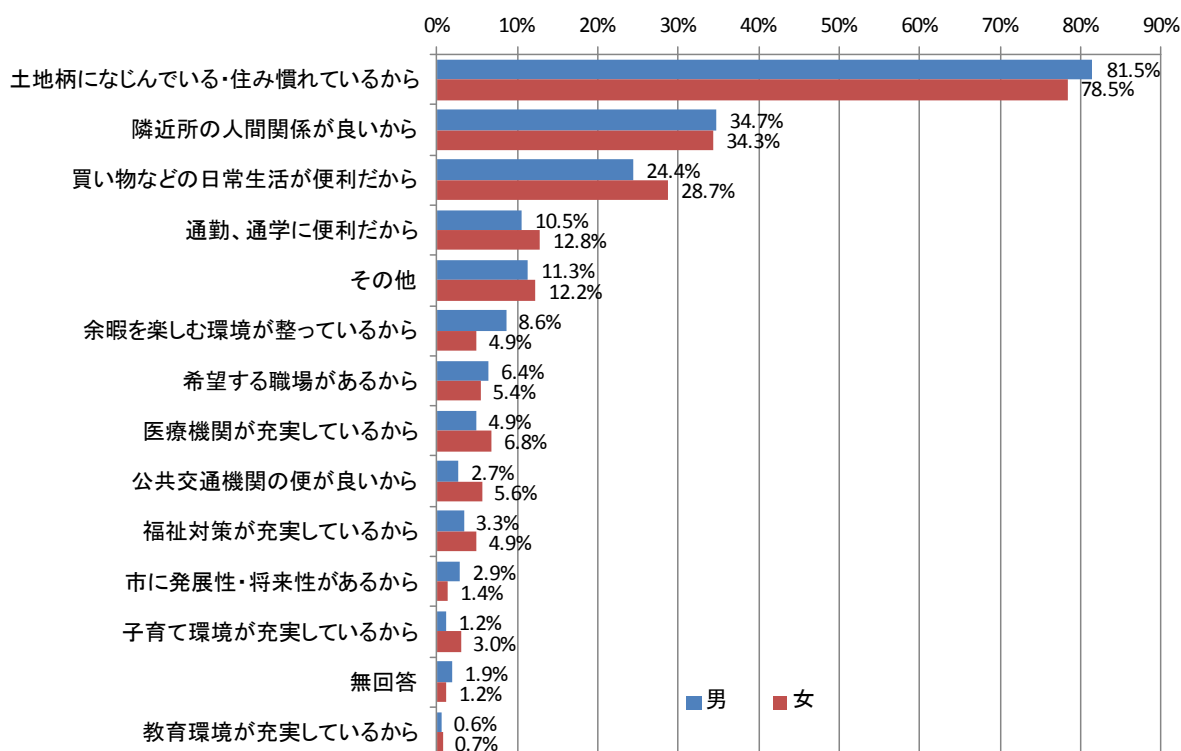
(1) 単純集計【全体】

定住理由は下記の順となっています。「土地柄になじんでいる・住み慣れているから」が最大の理由となっています。



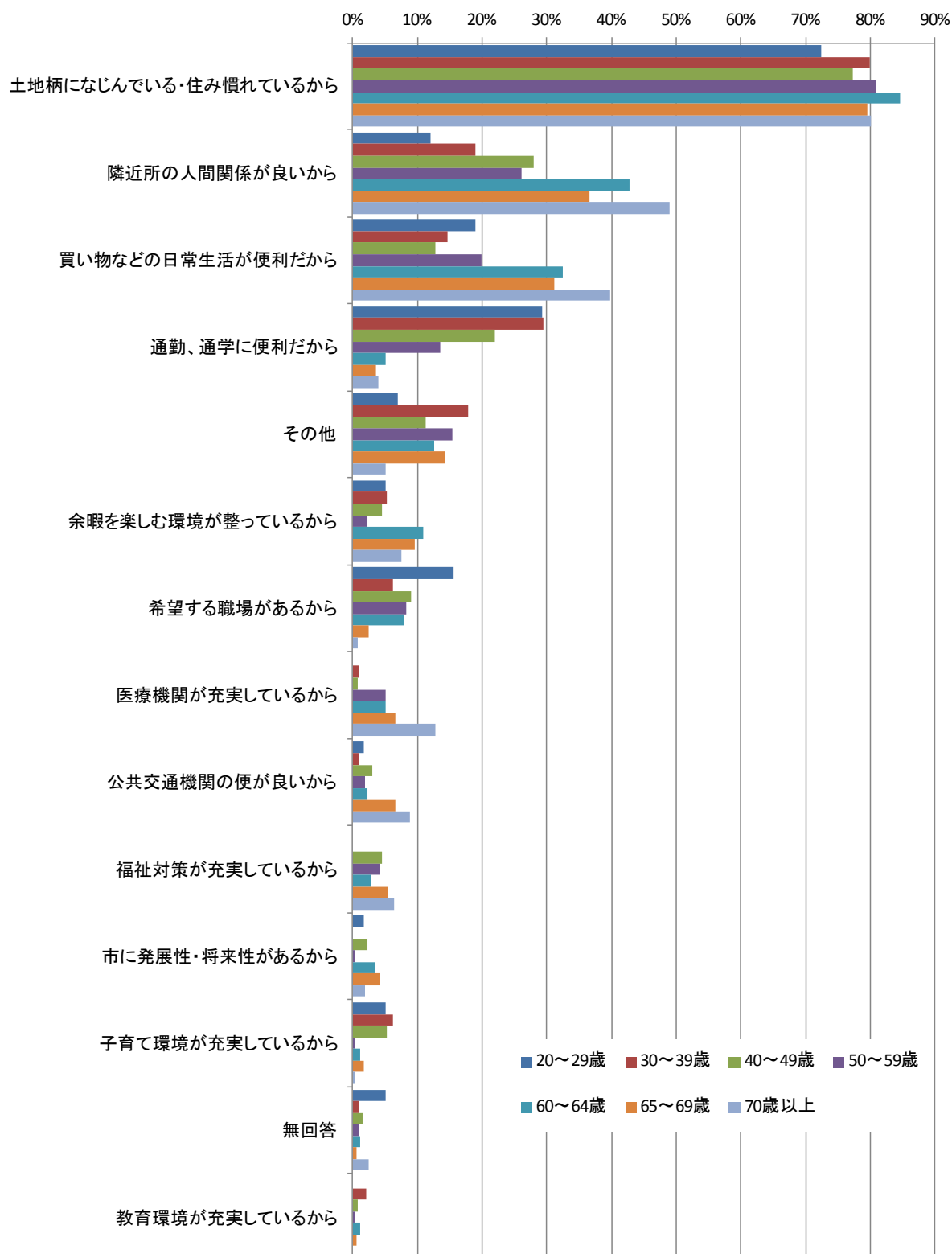
(2) 性別

「買い物などの日常生活が便利だから」「余暇を楽しむ環境が整っているから」「公共交通機関の便が良いから」等の理由は、性別による大きな違いが見られます。



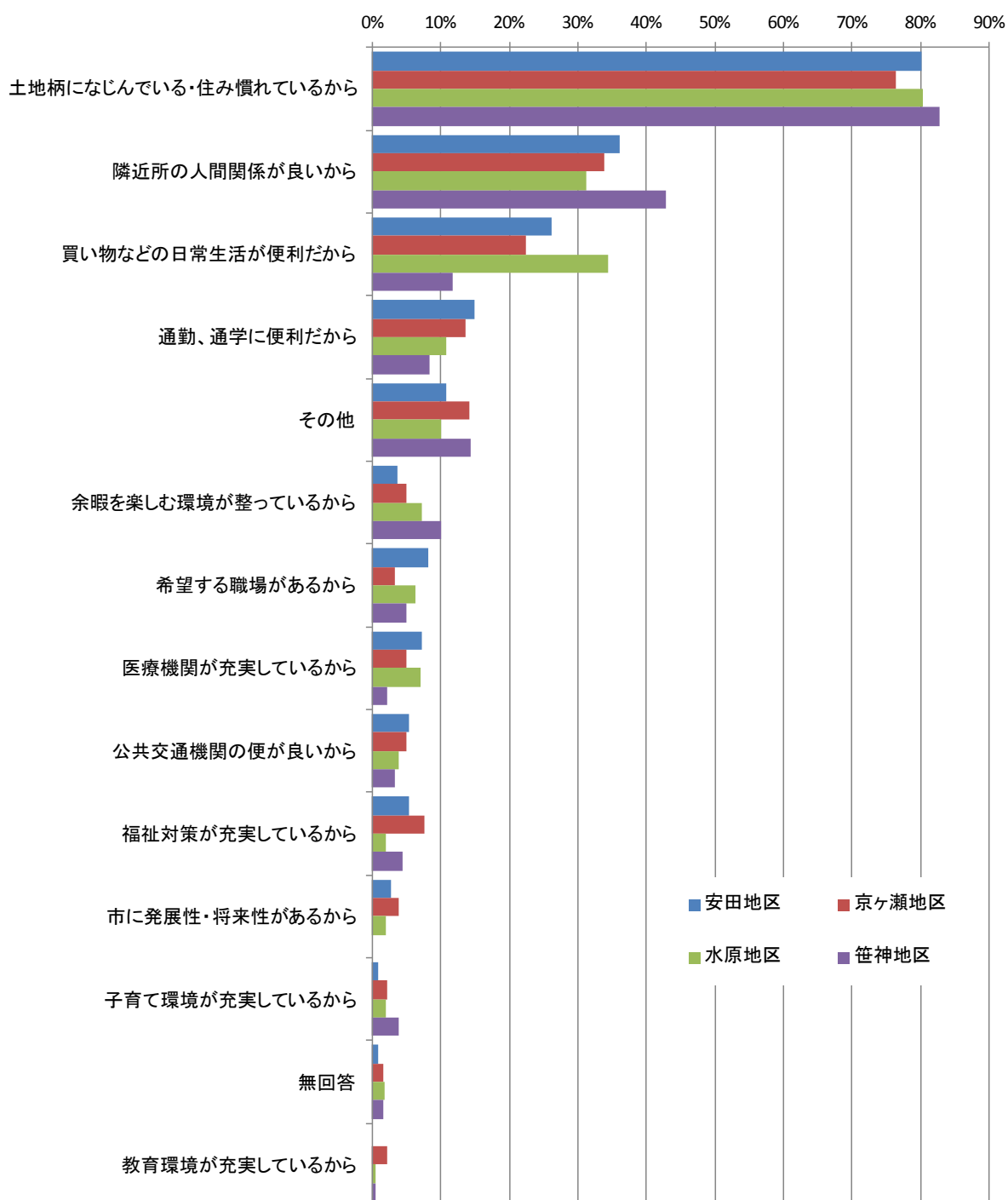
(3) 年齢別

すべての年代で「土地柄になじんでいる・住み慣れているから」が最大の理由となっています。それ以外の項目については、年代によってかなりのばらつきが見られます。



(4) 地区別

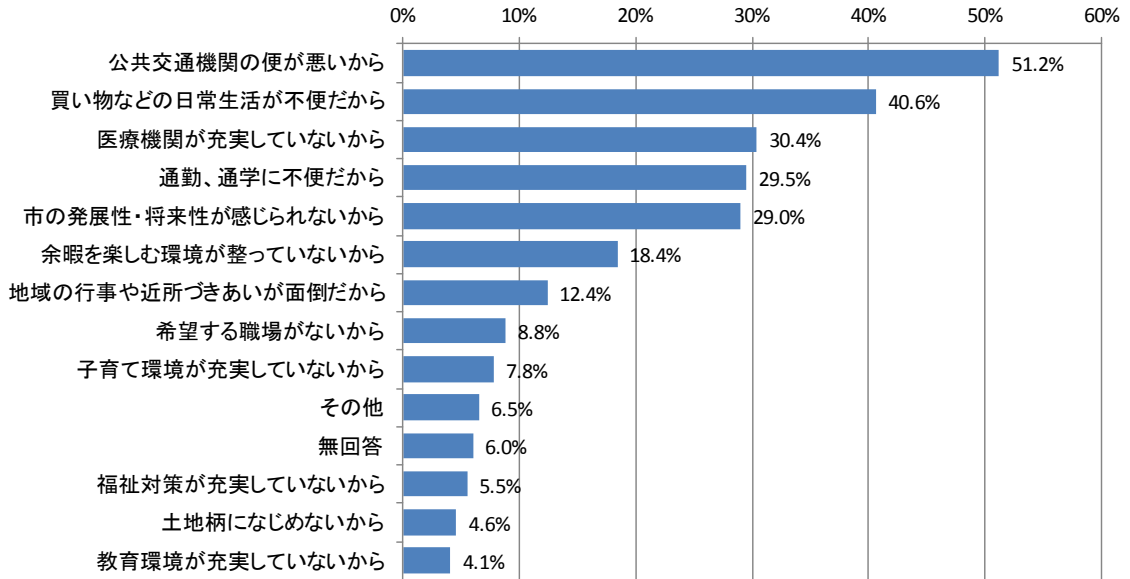
すべての地区で「土地柄になじんでいる・住み慣れているから」が最大の理由となっています。水原地区では、他の地区に比して「買い物などの日常生活が便利だから」の割合が高い一方で、「隣近所の人間関係が良いから」の割合が低く、中心市街地に見られる傾向が顕著に現れています。



問3-3 市外に転居したいと思う理由は何ですか。(〇は3つまで)

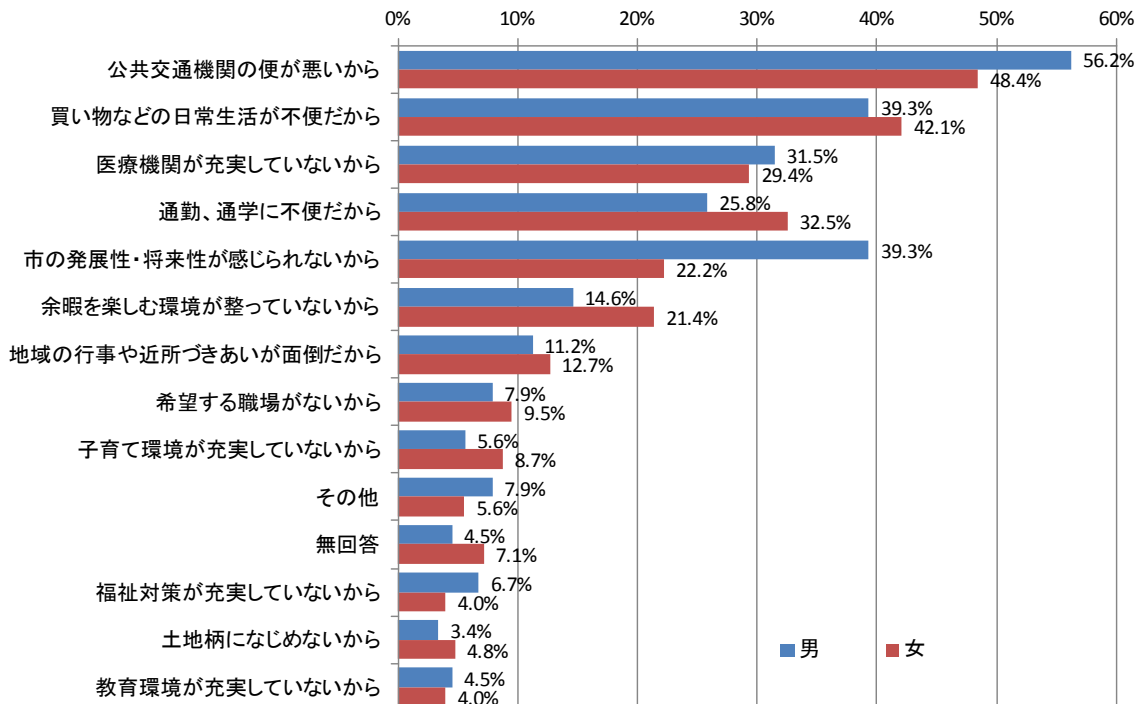
(1) 単純集計【全体】

転居意向の理由としては、「公共交通機関の便が悪いから」が5割を超え最も高くなっています。次いで、「買い物などの日常生活が不便だから」が約4割、「医療機関が充実していないから」が約3割となっています。



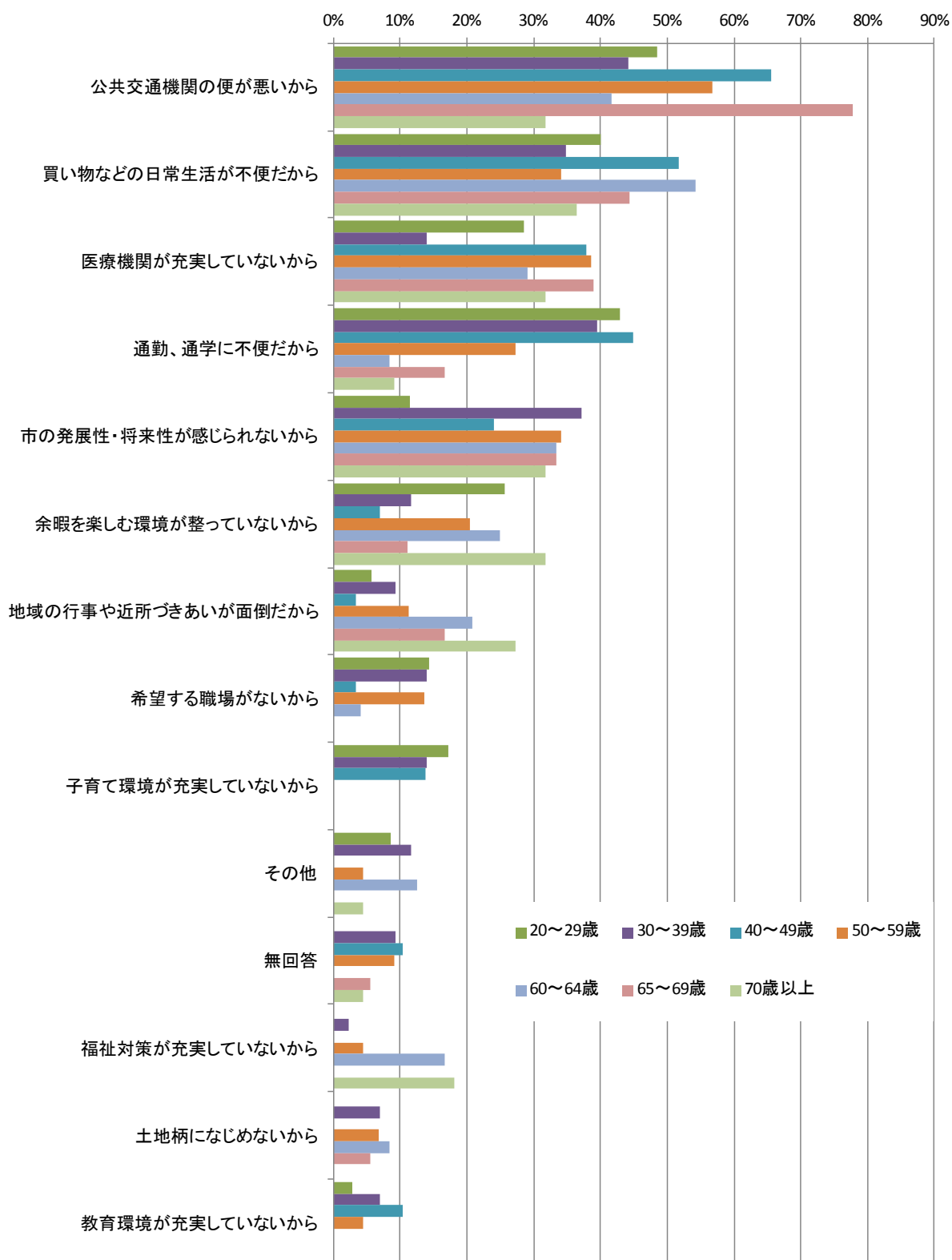
(2) 性別

「公共交通機関の便が悪いから」がともに最も多くなっています。「市の発展性・将来性が感じられないから」と回答した割合について、男性 39.3%、女性 22.2%となっており、大きな違いが見られます。



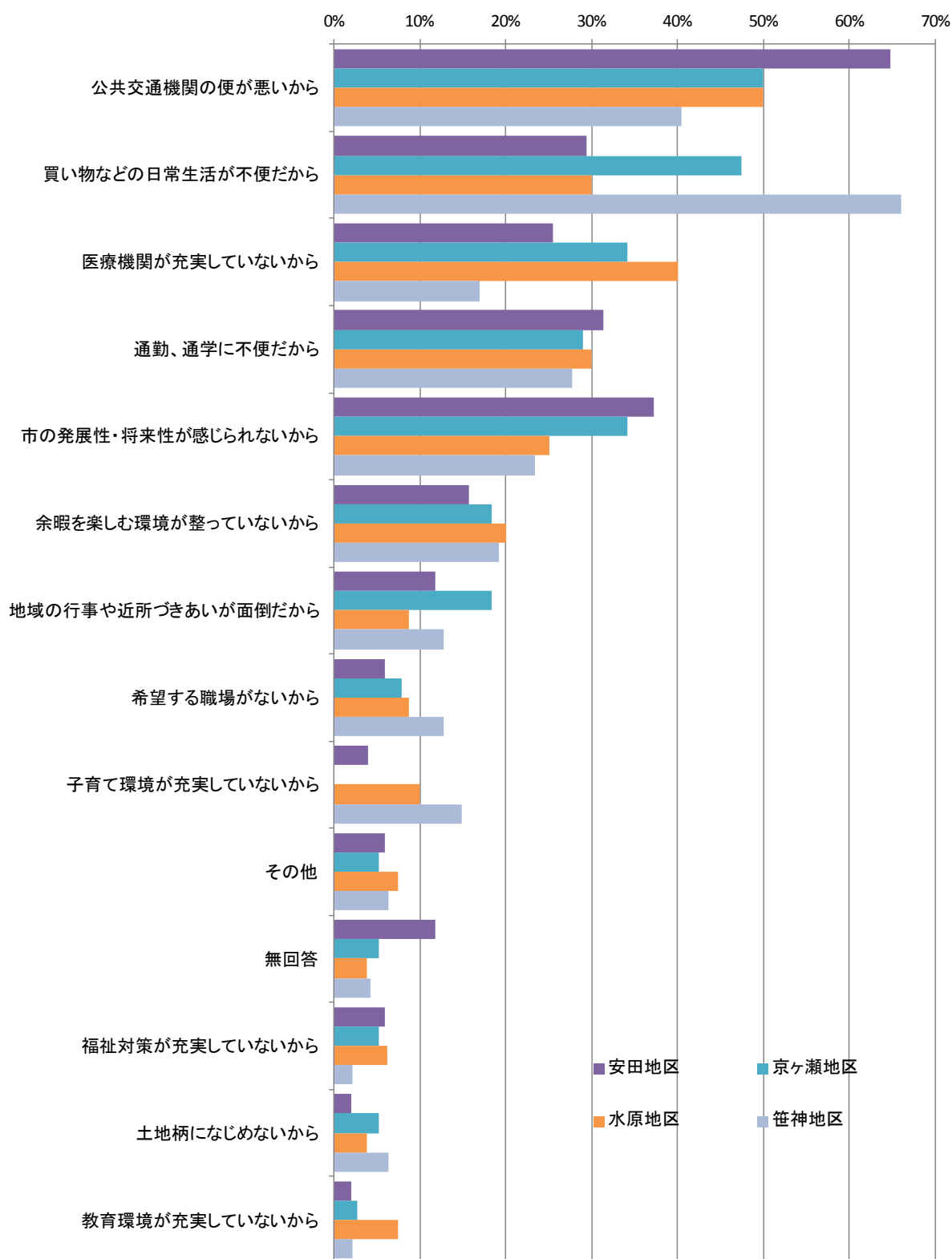
(3) 年齢別

「公共交通機関の便が悪いから」について、65～69歳が約8割と最も高く、70歳以上が約3割と最も低くなっています。この数年を境として、日常生活における移動手段がないために市外に住む子世帯などへ転居していると推察されます。



(4) 地区別

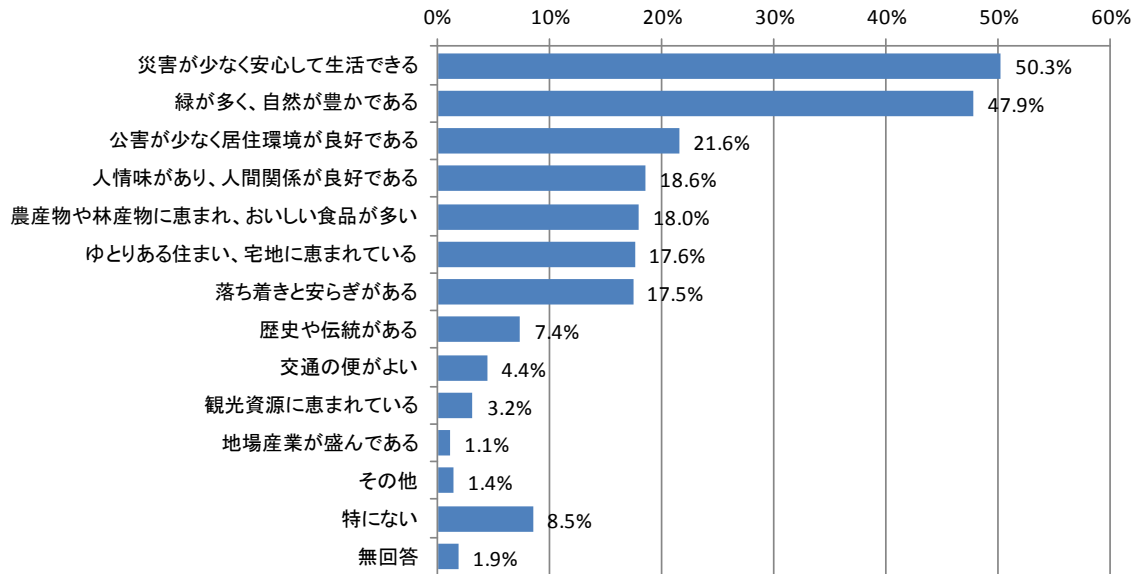
「公共交通機関の便が悪いから」について、駅のない安田地区では6割半ばと最も高くなっています。また、「買い物などの日常生活が不便だから」について、大型スーパーのない笹神地区では6割半ばと最も高くなっており、地区の特性が見てとれます。



問4 あなたが、阿賀野市の魅力として誇れるもの、大切にしたいものは何ですか。
(〇は3つまで)

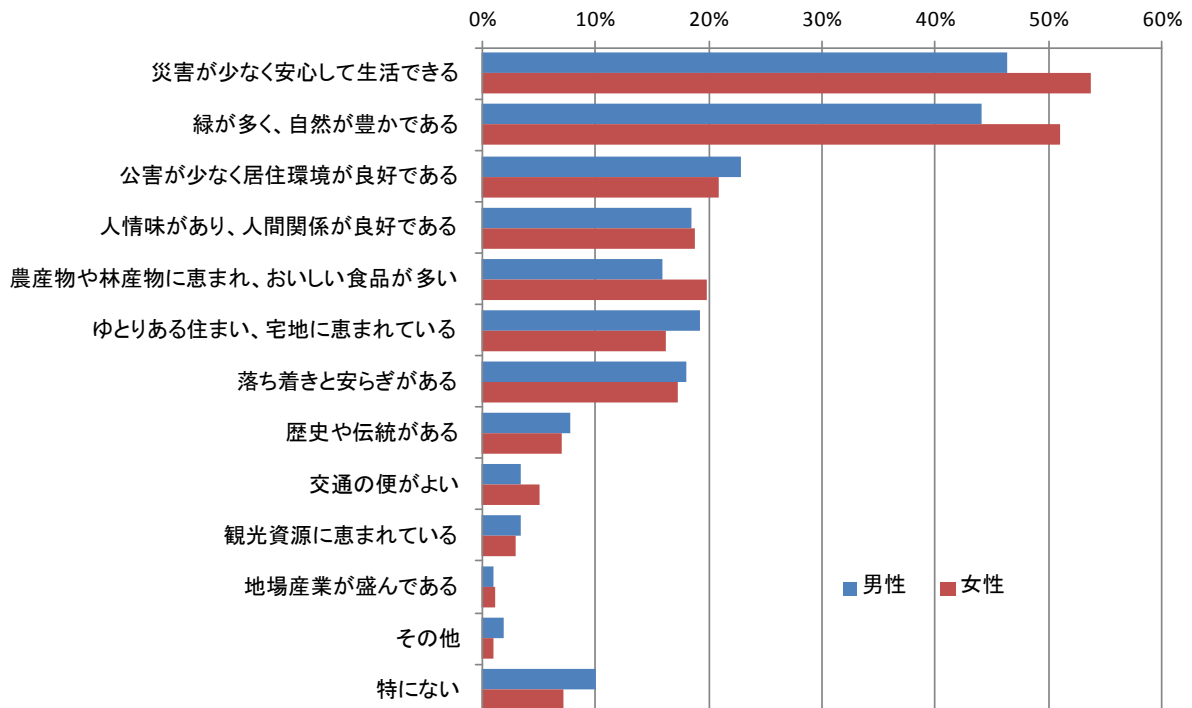
(1) 単純集計【全体】

「災害が少なく安心して生活できる」「緑が多く、自然が豊かである」が約5割
となっており、他の項目を大きく引き離しています。



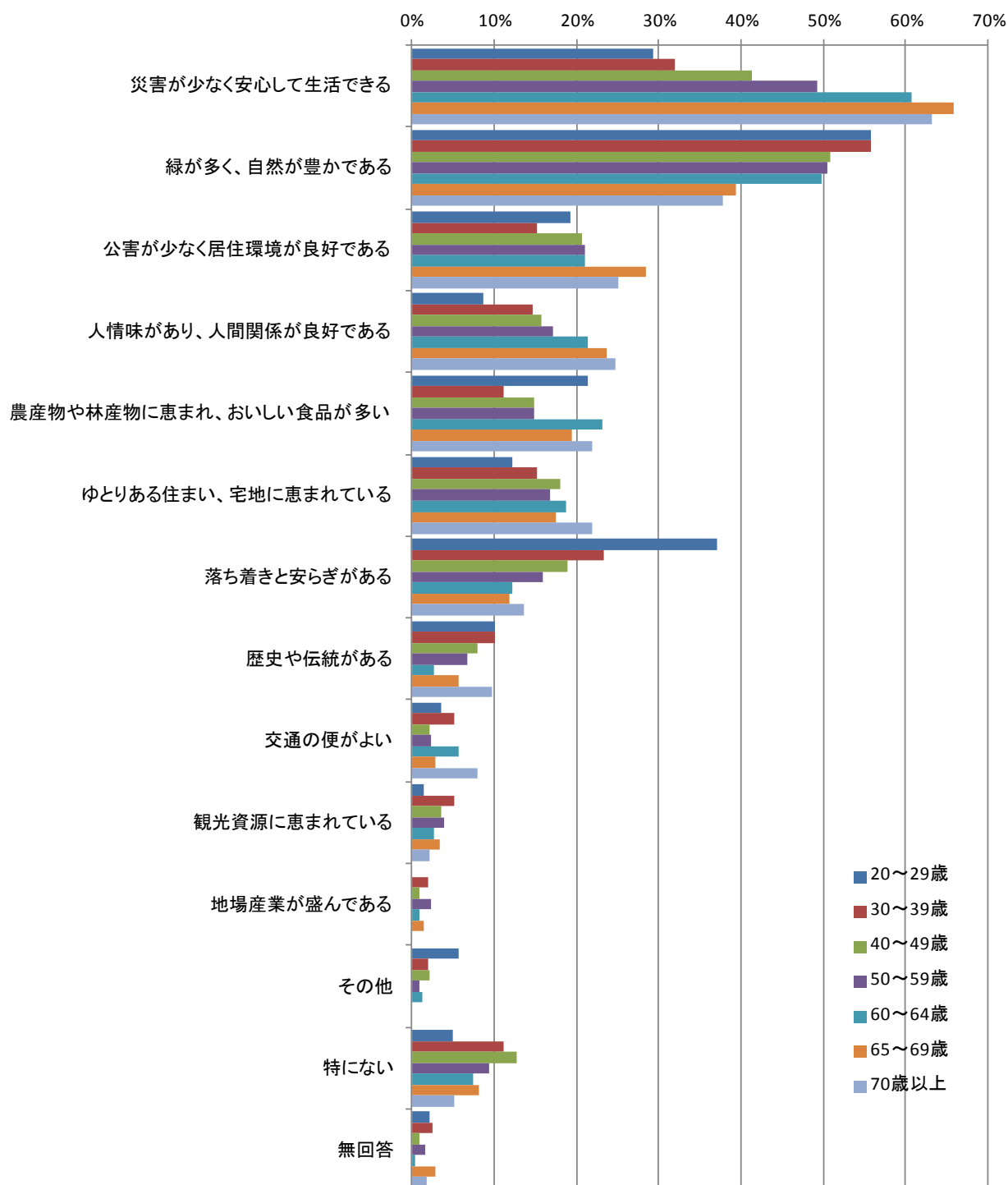
(2) 性別

性別で見ると、特に大きな違いは見られません。



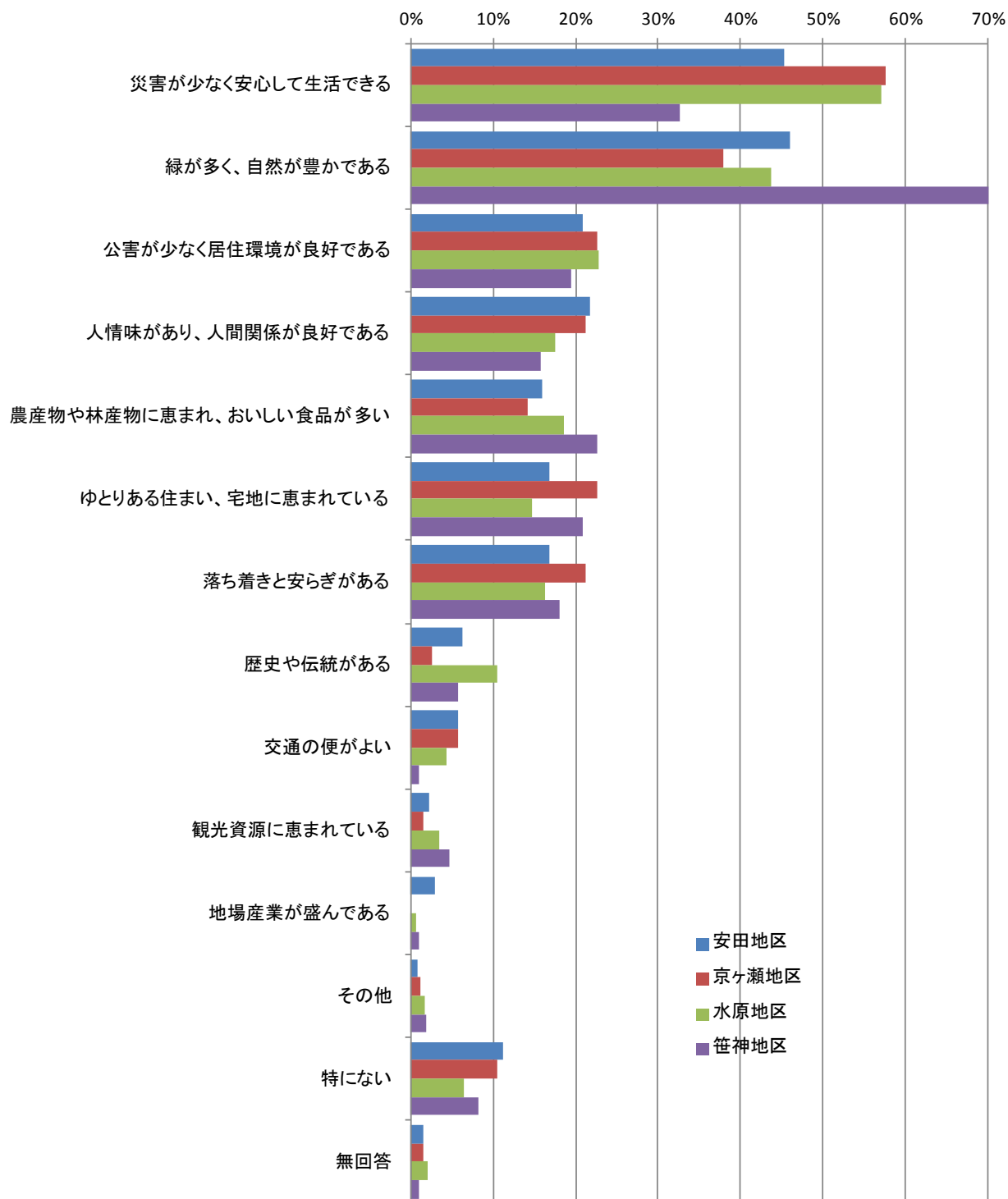
(3) 年齢別

「災害が少なく安心して生活できる」について、20代では3割に満たない一方で、60代以上では6割以上となっています。「緑が多く、自然が豊かである」について、65歳以上では4割に満たない一方で、20～50代では5割以上となっています。また、20代の3割半ばが「落ち着きと安らぎがある」と回答しており、他の年代との違いがうかがえます。



(4) 地区別

「災害が少なく安心して生活できる」について、京ヶ瀬地区、水原地区では5割後半となっています。また、「緑が多く、自然が豊かである」について、笹神地区では7割となっており、他の地区を大きく引き離しています。



2 満足度と重要度について

現行の阿賀野市総合計画後期基本計画の施策体系（全 41 施策）に基づいて、各施策にどの程度満足しているか（満足度）、どの程度重要であると思うか（重要度）を調査しました。

また、「重要度」から「満足度」を引いた値を「市民ニーズ度」と定義して表示しました。

【満足度と重要度の算出方法】

各施策に対する市民の満足度と重要度については、以下のとおり回答結果を得点化しています。具体的には、選択肢に得点を付けて、その平均値を求め、満足度と重要度を数値化することによって、項目ごとに比較できるようにしました。

選択肢	点数
満足	5
ある程度満足	4
どちらともいえない	3
少し不満	2
不満	1
わからない	0

選択肢	点数
重要	5
やや重要	4
どちらともいえない	3
あまり重要でない	2
重要でない	1
わからない	0

○算式（加重平均）

$$\text{満足度} = \{(\text{「満足」の数} \times 5) + (\text{「ある程度満足」の数} \times 4) + (\text{「どちらともいえない」の数} \times 3) + (\text{「少し不満」の数} \times 2) + (\text{「不満」の数} \times 1)\} \div (\text{「満足」の数} + \text{「ある程度満足」の数} + \text{「どちらともいえない」の数} + \text{「少し不満」の数} + \text{「不満」の数})$$
$$\text{重要度} = \{(\text{「重要」の数} \times 5) + (\text{「やや重要」の数} \times 4) + (\text{「どちらともいえない」の数} \times 3) + (\text{「あまり重要でない」の数} \times 2) + (\text{「重要でない」の数} \times 1)\} \div (\text{「満足」の数} + \text{「ある程度満足」の数} + \text{「どちらともいえない」の数} + \text{「少し不満」の数} + \text{「不満」の数})$$

問5 下の表に示した各項目は、市が取り組んでいる項目ですが、それぞれの項目について、あなた自身はどのくらい満足しているか。また、どのくらい重要だと思っているか。満足度、重要度それぞれについて、1～6の中から当てはまるものを1つ選び○をつけてください。

(1) 各施策の満足度[数値]

項目名	満足	ある程度満足	どちらともいえない	少し不満	不満	わからない	満足度
1. 高齢者福祉	1.9%	19.3%	35.6%	10.1%	8.8%	24.2%	2.94
2. 障がい者福祉	1.9%	14.6%	31.7%	9.8%	7.7%	34.4%	2.89
3. 子育て支援	1.9%	23.8%	28.8%	9.5%	8.5%	27.4%	3.01
4. 地域での支えあい	1.5%	16.1%	35.7%	12.9%	9.6%	24.3%	2.83
5. 健康づくり	6.2%	43.8%	28.4%	7.4%	4.3%	9.9%	3.45
6. 医療体制	2.8%	19.8%	20.2%	21.7%	30.2%	5.4%	2.40
7. 児童・生徒の安全と少子化対応	2.2%	19.3%	30.3%	11.8%	10.0%	26.4%	2.89
8. 幼稚園、小・中学校教育	2.7%	15.8%	29.4%	10.6%	7.9%	33.7%	2.92
9. 幼稚園、小・中学校の課題対応	1.8%	13.0%	28.7%	9.2%	6.6%	40.7%	2.90
10. 生涯学習	1.9%	13.9%	34.4%	10.1%	7.4%	32.3%	2.89
11. こどもの健全育成	1.9%	17.3%	30.5%	8.8%	4.9%	36.6%	3.04
12. 芸術・文化	2.5%	17.4%	32.1%	11.5%	9.3%	27.3%	2.90
13. スポーツ	3.5%	24.7%	31.9%	10.4%	7.7%	21.8%	3.08
14. 防災・救急	5.1%	24.9%	28.0%	13.2%	14.0%	14.9%	2.93
15. 防犯・交通安全	4.3%	33.7%	34.9%	7.5%	4.5%	15.1%	3.30
16. 消費生活	0.8%	6.9%	36.7%	6.2%	5.8%	43.6%	2.84
17. ゴミ・リサイクル・省エネ	11.4%	41.9%	24.5%	7.4%	3.4%	11.5%	3.57
18. 農業経営・担い手	0.8%	5.6%	27.8%	9.6%	11.2%	45.1%	2.55
19. 農業生産基盤	1.7%	11.2%	27.3%	6.6%	7.3%	46.0%	2.88
20. 農産物の安定供給・地産地消	1.8%	17.3%	29.4%	7.0%	7.0%	37.5%	3.00
21. 林業	0.6%	2.9%	24.5%	4.3%	5.6%	62.1%	2.70
22. 商工業	0.8%	9.2%	27.7%	8.3%	7.3%	46.7%	2.77
23. 観光	1.2%	14.6%	29.9%	12.9%	11.2%	30.2%	2.74
24. 企業誘致	1.1%	7.3%	23.4%	12.9%	16.4%	38.8%	2.41
25. 都市整備	1.2%	10.9%	35.1%	14.4%	14.5%	23.9%	2.60
26. 居住環境	3.4%	29.2%	34.8%	10.1%	8.1%	14.4%	3.11
27. 水とみどり	6.2%	28.7%	31.0%	14.0%	9.9%	10.2%	3.08
28. 道路	7.9%	36.9%	25.4%	13.5%	11.6%	4.7%	3.17
29. 公共交通機関	3.0%	17.2%	23.9%	17.9%	29.1%	8.9%	2.42
30. 上水道	40.1%	41.1%	11.0%	2.0%	1.5%	4.2%	4.21
31. 下水道	27.0%	39.3%	17.5%	4.1%	4.4%	7.6%	3.87
32. 治山・治水	7.3%	25.0%	25.8%	5.7%	3.6%	32.7%	3.40
33. コミュニティ	3.2%	16.5%	40.9%	7.5%	4.3%	27.5%	3.09
34. 交流	1.2%	6.1%	35.0%	5.7%	4.2%	47.8%	2.89
35. 男女共同参画	1.7%	8.3%	36.9%	5.9%	3.9%	43.3%	2.97
36. 市民参画	2.1%	10.5%	39.0%	5.7%	4.9%	37.7%	2.99
37. 行政改革	0.6%	8.3%	28.5%	11.8%	16.0%	34.7%	2.48
38. 職員管理	1.4%	7.7%	25.6%	11.5%	14.2%	39.7%	2.51
39. 電子自治体	1.1%	6.3%	30.5%	6.3%	4.8%	51.0%	2.85
40. 財政	0.8%	6.7%	26.6%	8.4%	12.5%	45.0%	2.54
41. 近隣自治体との連携	1.0%	8.2%	31.0%	6.5%	6.3%	47.0%	2.83

(2) 各施策の重要度[数値]

項目名	重要	やや重要	どちらとも いえない	あまり重 要でない	重要でない	わからない	重要度
1. 高齢者福祉	43.0%	36.0%	13.3%	1.0%	0.5%	6.1%	4.28
2. 障がい者福祉	40.7%	34.8%	13.5%	1.1%	0.3%	9.7%	4.27
3. 子育て支援	55.4%	25.0%	9.1%	0.6%	0.5%	9.4%	4.48
4. 地域での支えあい	45.9%	32.6%	12.6%	0.3%	0.3%	8.3%	4.35
5. 健康づくり	37.0%	42.3%	14.9%	1.3%	0.5%	4.1%	4.19
6. 医療体制	67.1%	20.9%	7.5%	1.0%	0.2%	3.3%	4.59
7. 児童・生徒の安全と少子化対応	45.1%	30.2%	13.4%	0.6%	0.4%	10.3%	4.33
8. 幼稚園、小・中学校教育	39.0%	31.4%	16.2%	0.7%	0.3%	12.5%	4.23
9. 幼稚園、小・中学校の課題対応	33.0%	29.9%	20.1%	0.7%	0.5%	15.8%	4.12
10. 生涯学習	15.1%	33.2%	30.8%	4.1%	1.5%	15.3%	3.67
11. こどもの健全育成	33.3%	31.4%	19.6%	0.9%	0.5%	14.3%	4.12
12. 芸術・文化	10.9%	28.5%	37.5%	7.7%	2.3%	13.0%	3.43
13. スポーツ	14.6%	33.2%	34.5%	4.6%	1.4%	11.7%	3.62
14. 防災・救急	62.2%	21.6%	10.5%	0.5%	0.2%	5.1%	4.53
15. 防犯・交通安全	44.4%	36.2%	13.3%	1.0%	0.1%	5.1%	4.30
16. 消費生活	16.8%	31.7%	31.3%	4.2%	0.4%	15.6%	3.71
17. ゴミ・リサイクル・省エネ	34.0%	43.2%	15.9%	1.4%	0.5%	4.9%	4.14
18. 農業経営・担い手	30.0%	28.1%	20.3%	1.6%	0.5%	19.5%	4.06
19. 農業生産基盤	22.3%	25.8%	24.5%	2.5%	0.7%	24.3%	3.88
20. 農産物の安定供給・地産地消	25.2%	31.0%	22.3%	1.3%	1.0%	19.2%	3.97
21. 林業	14.3%	19.3%	27.5%	3.1%	1.1%	34.6%	3.65
22. 商工業	19.3%	27.2%	24.9%	1.6%	0.7%	26.3%	3.85
23. 観光	21.8%	34.0%	22.0%	2.7%	1.7%	17.8%	3.87
24. 企業誘致	31.2%	27.1%	19.1%	1.3%	1.1%	20.1%	4.08
25. 都市整備	21.6%	31.7%	27.5%	2.9%	1.2%	15.1%	3.82
26. 居住環境	25.0%	36.7%	26.3%	2.3%	0.3%	9.3%	3.92
27. 水とみどり	22.7%	39.9%	27.6%	2.5%	0.7%	6.7%	3.87
28. 道路	35.0%	41.3%	17.7%	2.2%	0.9%	2.9%	4.11
29. 公共交通機関	35.2%	35.9%	20.9%	2.0%	1.1%	4.9%	4.07
30. 上水道	56.2%	27.4%	12.6%	0.8%	0.3%	2.7%	4.42
31. 下水道	45.4%	32.4%	15.9%	0.9%	0.6%	4.8%	4.27
32. 治山・治水	39.1%	29.0%	17.0%	0.7%	0.1%	14.1%	4.24
33. コミュニティ	15.9%	32.1%	33.4%	2.7%	0.9%	14.9%	3.70
34. 交流	8.9%	21.6%	38.4%	4.1%	2.3%	24.5%	3.41
35. 男女共同参画	13.5%	22.9%	35.1%	3.4%	2.0%	23.3%	3.55
36. 市民参画	10.4%	24.2%	38.0%	4.0%	1.8%	21.6%	3.48
37. 行政改革	45.5%	22.4%	14.0%	0.8%	0.5%	16.9%	4.34
38. 職員管理	37.7%	25.4%	16.4%	1.3%	0.5%	18.7%	4.21
39. 電子自治体	19.1%	23.4%	26.7%	2.7%	0.7%	27.4%	3.79
40. 財政	42.8%	19.4%	16.2%	0.4%	0.7%	20.5%	4.30
41. 近隣自治体との連携	24.5%	25.2%	25.6%	1.5%	0.7%	22.5%	3.92

(3) 満足度・重要度項目別順位

満足度

番号	設問項目	満足度	順位		
			今回調査	H25調査	H19調査
30	上水道	4.21	1	1	1
31	下水道	3.87	2	2	2
17	ゴミ・リサイクル・省エネ	3.57	3	3	3
5	健康づくり	3.45	4	4	10
32	治山・治水	3.40	5	4	4
15	防犯・交通安全	3.30	6	6	5
28	道路	3.17	7	7	6
26	居住環境	3.11	8	16	18
33	コミュニティ	3.09	9	12	11
13	スポーツ	3.08	10	9	7
27	水とみどり	3.08	10	14	13
11	こどもの健全育成	3.04	12	11	9
3	子育て支援	3.01	13	9	23
20	農産物の安定供給・地産地消	3.00	14	8	8
36	市民参画	2.99	15	13	16
35	男女共同参画	2.97	16	16	12
1	高齢者福祉	2.94	17	16	23
14	防災・救急	2.93	18	33	34
8	幼稚園、小・中学校教育	2.92	19	15	18
9	幼稚園、小・中学校の課題対応	2.90	20	19	17
12	芸術・文化	2.90	20	20	13
10	生涯学習	2.89	22	23	20
2	障がい者福祉	2.89	22	24	23
34	交流	2.89	22	27	21
7	児童・生徒の安全と少子化対応	2.89	22	29	29
19	農業生産基盤	2.88	26	22	13
39	電子自治体	2.85	27	21	21
16	消費生活	2.84	28	24	27
41	近隣自治体との連携	2.83	29	27	29
4	地域での支えあい	2.83	29	29	31
22	商工業	2.77	31	29	31
23	観光	2.74	32	26	33
21	林業	2.70	33	32	26
25	都市整備	2.60	34	39	36
18	農業経営・担い手	2.55	35	34	35
40	財政	2.54	36	36	39
38	職員管理	2.51	37	35	38
37	行政改革	2.48	38	38	40
29	公共交通機関	2.42	39	37	28
24	企業誘致	2.41	40	40	37
6	医療体制	2.40	41	41	41

平均

重要度

番号	設問項目	重要度	順位		
			今回調査	H25調査	H19調査
6	医療体制	4.59	1	26	1
14	防災・救急	4.53	2	8	2
3	子育て支援	4.48	3	3	3
30	上水道	4.42	4	1	4
4	地域での支えあい	4.35	5	18	21
37	行政改革	4.34	6	9	6
7	児童・生徒の安全と少子化対応	4.33	7	14	7
15	防犯・交通安全	4.30	8	4	9
40	財政	4.30	8	7	5
1	高齢者福祉	4.28	10	15	8
31	下水道	4.27	11	2	13
2	障がい者福祉	4.27	11	12	10
32	治山・治水	4.24	13	4	12
8	幼稚園、小・中学校教育	4.23	14	13	13
38	職員管理	4.21	15	19	13
5	健康づくり	4.19	16	9	11
17	ゴミ・リサイクル・省エネ	4.14	17	6	16
9	幼稚園、小・中学校の課題対応	4.12	18	11	17
11	こどもの健全育成	4.12	18	17	18
28	道路	4.11	20	20	21
24	企業誘致	4.08	21	26	23
29	公共交通機関	4.07	22	24	19
18	農業経営・担い手	4.06	23	20	20
20	農産物の安定供給・地産地消	3.97	24	15	25
41	近隣自治体との連携	3.92	25	20	25
26	居住環境	3.92	25	24	24
19	農業生産基盤	3.88	27	29	28
27	水とみどり	3.87	28	29	27
23	観光	3.87	28	32	33
22	商工業	3.85	30	23	30
25	都市整備	3.82	31	40	28
39	電子自治体	3.79	32	26	31
16	消費生活	3.71	33	36	31
33	コミュニティ	3.70	34	31	34
10	生涯学習	3.67	35	35	35
21	林業	3.65	36	33	36
13	スポーツ	3.62	37	34	37
35	男女共同参画	3.55	38	37	38
36	市民参画	3.48	39	38	40
12	芸術・文化	3.43	40	39	39
34	交流	3.41	41	41	41

(4) 満足度における項目別傾向

■「満足している」の割合

満足しているとした人の割合（「満足」と「ある程度満足」の合計）が高い順に見ると、「上水道」が81.2%と最も高く、次いで「下水道」66.3%、「ゴミ・リサイクル・省エネ」53.2%、「健康づくり」50.1%、「道路」44.8%となっています。

（上位5項目は前回調査と同じ）

■「不満である」の割合

不満であるとした人の割合（「不満」と「少し不満」の合計）が高い順に見ると、「医療体制」が51.8%と最も高く、次いで「公共交通機関」47.0%、「企業誘致」29.3%、「都市整備」28.9%、「行政改革」27.8%となっています。

■満足度

満足度が最も高かったのが「上水道」で4.21、次いで「下水道」3.87、「ゴミ・リサイクル・省エネ」3.57、「健康づくり」3.45、「治山・治水」3.40の順となっています。（上位5項目は前回調査と同じ）

満足度が低かった順では、「医療体制」が2.40と最も低く、次いで「企業誘致」2.41、「公共交通機関」2.42となっています。

■前回調査との比較

前回調査と比較して満足度の順位が大きく上がった項目として、「防災・救急」は前回33位から18位と最も順位が上昇し、次いで「居住環境」、「児童・生徒の安全と少子化対応」などの順に満足度が上がっています。

一方、順位が下がった項目として、「農業物の安定供給・地産地消」「電子自治体」「観光」の変化が大きくなっています。

(5) 重要度における項目別傾向

■「重要である」の割合

重要であるとした人の割合（「重要」と「やや重要」の合計）が高い順に見ると、「医療体制」が88.0%と最も高く、次いで「防災・救急」83.7%、「上水道」83.6%、「防犯・交通安全」80.6%、「子育て支援」80.4%となっています。

■「重要でない」の割合

重要でないとした人の割合（「重要でない」と「あまり重要でない」の合計）が高い順に見ると、「芸術・文化」が10.1%と最も高く、次いで「交流」6.5%、「スポーツ」5.9%、「市民参画」5.8%、「生涯学習」5.6%となっています。

■重要度

重要度が最も高かったのは「医療体制」4.59で、次いで「防災・救急」4.53、「子育て支援」4.48、「上水道」4.42、「地域での支え合い」4.35の順となっています。

一方、低かった順で見ると、「交流」3.41が最も低く、次いで「芸術・文化」3.43、「市民参画」3.48の順となっています。

■前回調査との比較

前回調査と比較して重要度の順位が大きく上がった項目は、「医療体制」（25位上昇）、「地域での支え合い」（13位上昇）、「都市整備」（9位上昇）、次いで「児童・生徒の安全と少子化対応」、「防災・救急」の順となっています。

一方、順位が下がった項目として、「ゴミ・リサイクル・省エネ」、「農産物の安定供給・地産地消」、「地産・治水」といった項目が大きく順位を下げています。

（6）ニーズ度分析

市民の皆さんが重要と考えている（「重要度」が高い）が満足していない（「満足度」が低い）施策は、市民ニーズが高く、優先的に取り組むべき施策と考えられます。そこで、「重要度」から「満足度」を差し引いた値を「市民ニーズ度」と定義して分析を行いました。

市民ニーズ度の高い項目としては、「医療体制」が最も高く、次いで「行政改革」、「財政」、「職員管理」、「企業誘致」、「公共交通機関」の順となっています。

前回調査との比較から、市民ニーズ度の順位が大きく上がった項目としては、「高齢者福祉」、「道路」、「地域での支え合い」、「ゴミ・リサイクル・省エネ」となっています。

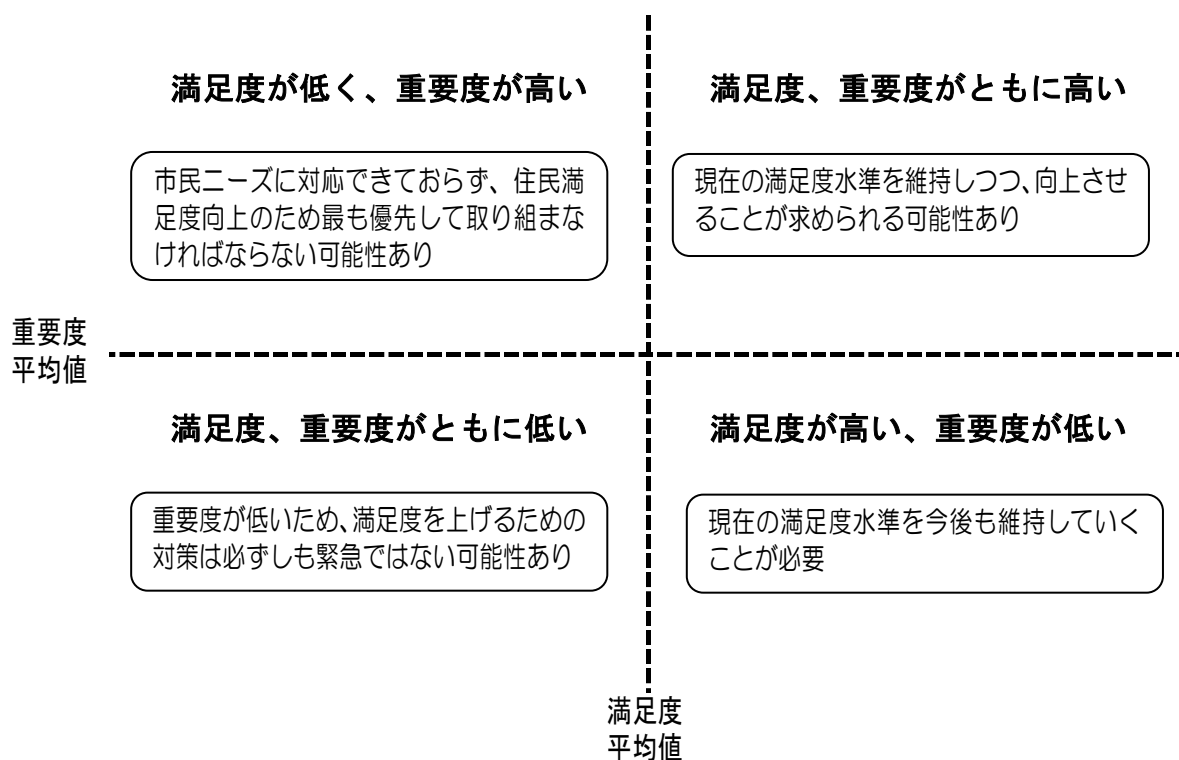
一方、市民ニーズ度の順位が大きく下がった項目としては、「都市整備」、「林業」、「近隣自治体との連携」、「交流」となっています。

「重要度」－「満足度」＝「市民ニーズ度」

番号	設問項目	重要度	満足度	市民ニーズ度	順位		
					今回調査	H25調査	H19調査
6.	医療体制	4.59	2.40	2.19	1	1	1
37.	行政改革	4.34	2.48	1.87	2	2	2
40.	財政	4.30	2.54	1.76	3	2	3
38.	職員管理	4.21	2.51	1.70	4	7	5
24.	企業誘致	4.08	2.41	1.67	5	4	8
29.	公共交通機関	4.07	2.42	1.65	6	6	13
14.	防災・救急	4.53	2.93	1.60	7	5	4
4.	地域での支えあい	4.35	2.83	1.52	8	12	14
18.	農業経営・担い手	4.06	2.55	1.51	9	8	11
3.	子育て支援	4.48	3.01	1.47	10	13	6
7.	児童・生徒の安全と少子化対応	4.33	2.89	1.44	11	10	7
2.	障がい者福祉	4.27	2.89	1.37	12	11	10
1.	高齢者福祉	4.28	2.94	1.34	13	18	9
8.	幼稚園、小・中学校教育	4.23	2.92	1.31	14	17	15
25.	都市整備	3.82	2.60	1.22	15	9	12
9.	幼稚園、小・中学校の課題対応	4.12	2.90	1.22	15	13	18
23.	観光	3.87	2.74	1.14	17	20	20
41.	近隣自治体との連携	3.92	2.83	1.09	18	13	16
22.	商工業	3.85	2.77	1.08	19	16	19
11.	こどもの健全育成	4.12	3.04	1.08	19	20	22
19.	農業生産基盤	3.88	2.88	1.00	21	23	29
15.	防犯・交通安全	4.30	3.30	1.00	21	24	21
20.	農産物の安定供給・地産地消	3.97	3.00	0.97	23	22	30
21.	林業	3.65	2.70	0.95	24	19	28
39.	電子自治体	3.79	2.85	0.95	24	25	25
28.	道路	4.11	3.17	0.94	26	31	33
16.	消費生活	3.71	2.84	0.88	27	27	24
32.	治山・治水	4.24	3.40	0.84	28	28	27
26.	居住環境	3.92	3.11	0.81	29	26	23
27.	水とみどり	3.87	3.08	0.79	30	28	26
10.	生涯学習	3.67	2.89	0.77	31	28	31
5.	健康づくり	4.19	3.45	0.74	32	33	17
33.	コミュニティ	3.70	3.09	0.60	33	32	34
35.	男女共同参画	3.55	2.97	0.58	34	35	36
17.	ゴミ・リサイクル・省エネ	4.14	3.57	0.57	35	39	31
13.	スポーツ	3.62	3.08	0.55	36	37	40
12.	芸術・文化	3.43	2.90	0.54	37	36	38
34.	交流	3.41	2.89	0.52	38	34	39
36.	市民参画	3.48	2.99	0.49	39	38	37
31.	下水道	4.27	3.87	0.40	40	40	35
30.	上水道	4.42	4.21	0.21	41	41	41

(7) 満足度と重要度の関係

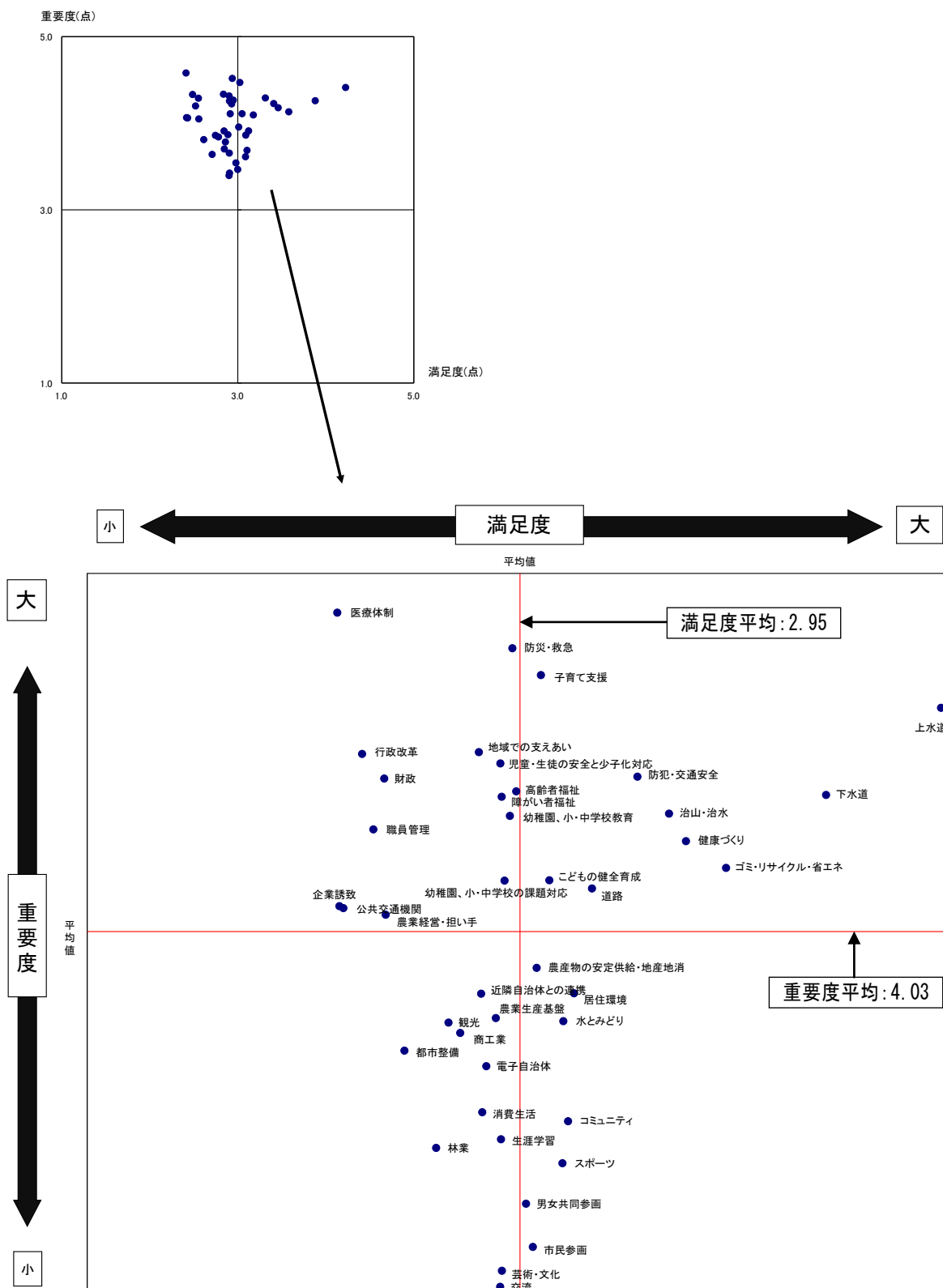
数値化した「満足度」と「重要度」により散布図を作成することでニーズの高い項目を確認しました。



○ 留意点

- ・上図の「高い」や「低い」は、「満足度」「重要度」それぞれの平均値を基準にしています。
- ・各施策の「満足度」「重要度」に基づいて、上図のとおり、4つの領域に分類していますが、「満足度」「重要度」の平均値（特に「満足度」「重要度」の平均値の交点）に近い施策は、隣接する領域との明確な差がないため、単純に各領域に分類することは難しいと考えます。
- ・次ページの散布図は、「満足度」「重要度」により、各施策を相対的に分類したものであり、分析結果が施策の順位付けに直結するものではありません。また、たとえ重要度が低いとされた施策であっても、法律に基づいて実施するものや、将来を見据えて実施すべきもの、市の地域特性や課題への対応、緊急性を要するものなどもあるため、個別に慎重な検討を行っていきます。

散布図（満足度・重要度）

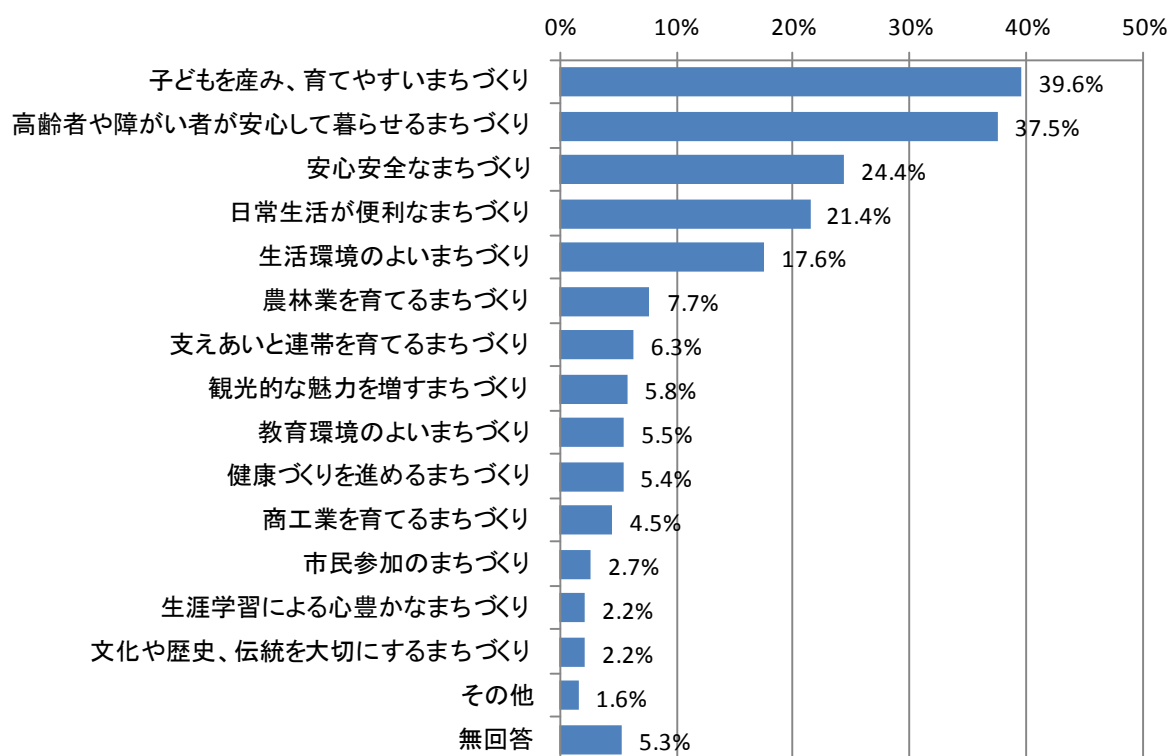


3 これからのまちづくりについて

問6 阿賀野市のこれからのまちづくりで、どのようなイメージのまちが望ましいと思いますか。(〇は2つまで)

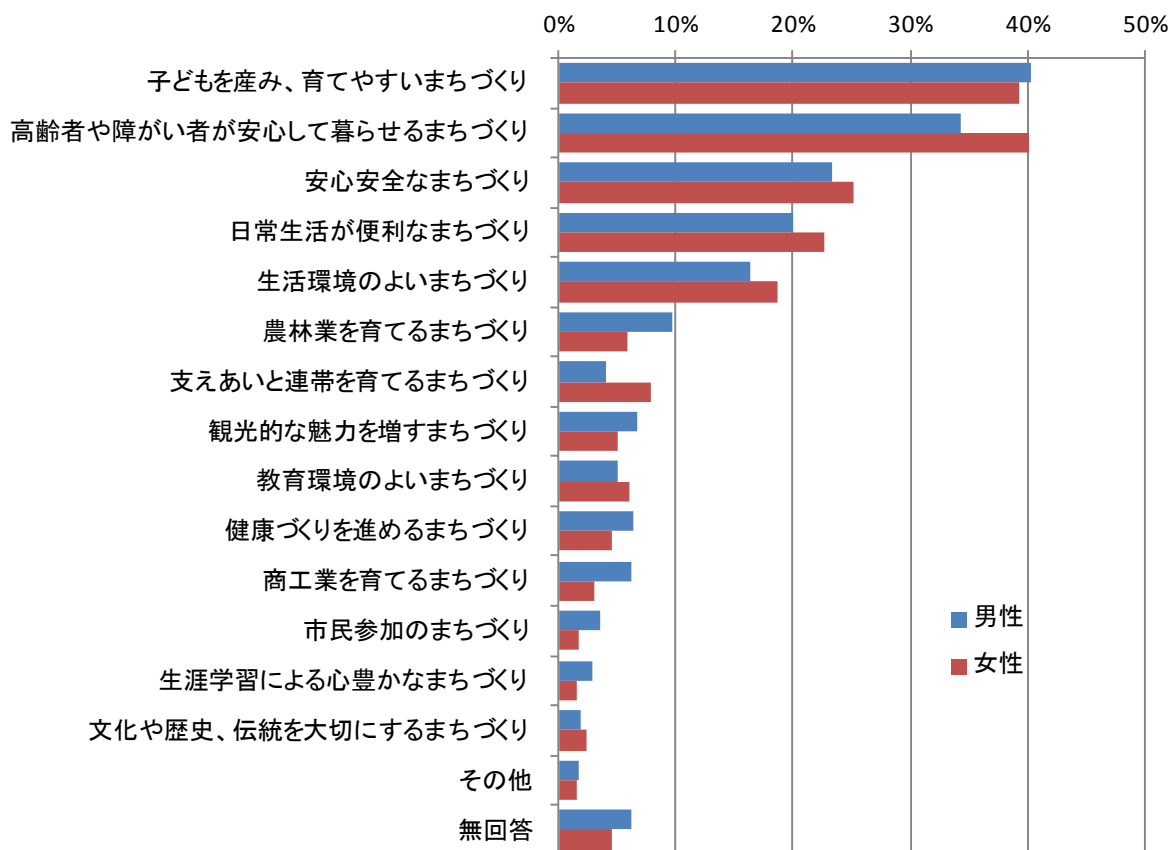
(1) 単純集計【全体】

「子どもを産み、育てやすいまちづくり」の割合が39.6%と最も高く、次いで「高齢者や障がい者が安心して暮らせるまちづくり」37.5%、「安心安全なまちづくり」24.4%の順となっています。



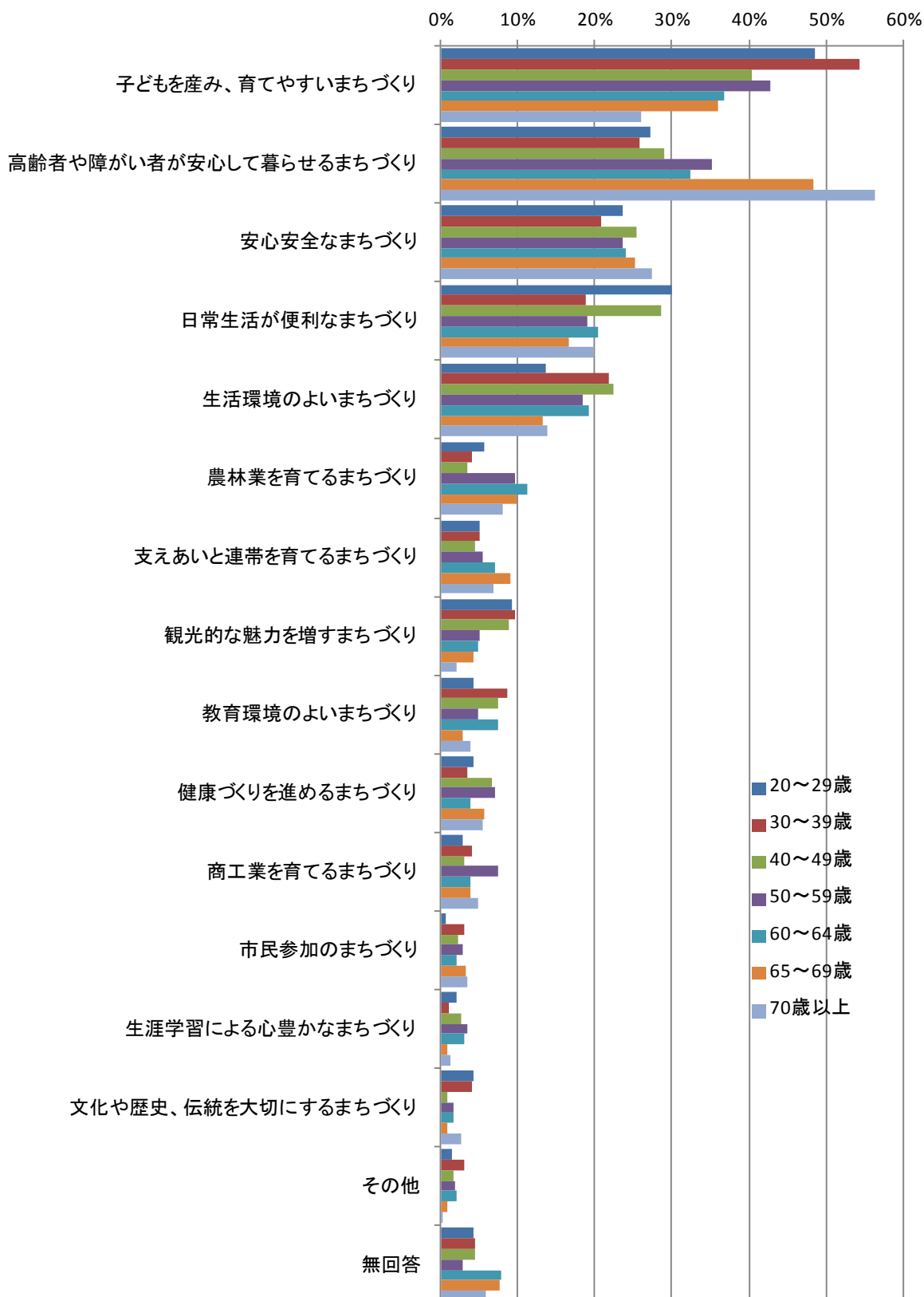
(2) 性別

男性では「子どもを産み、育てやすいまちづくり」が最も高くなっていますが、女性では「高齢者や障がい者が安心して暮らせるまちづくり」が最も高くなっており、順位が入れ替わっています。



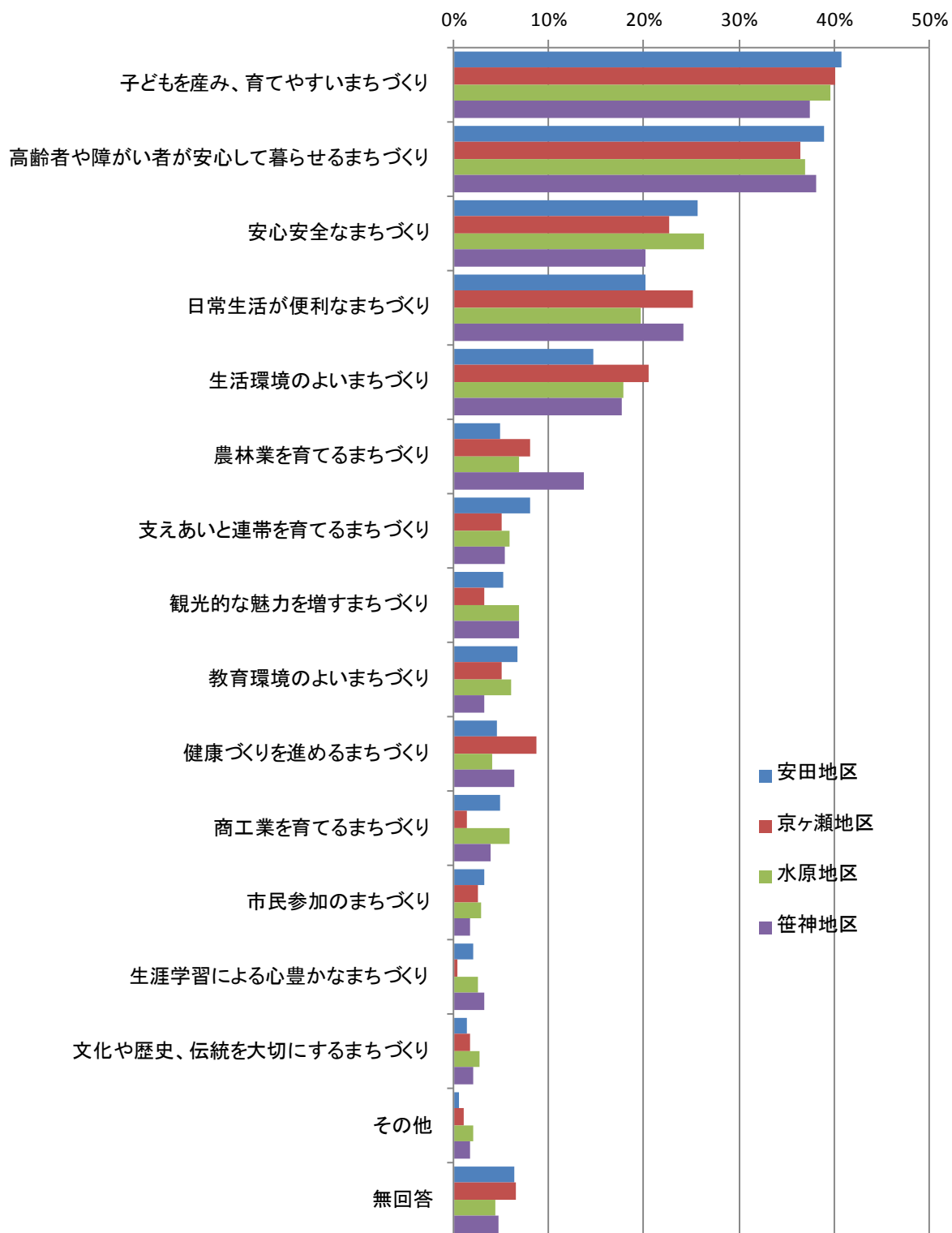
(3) 年齢別

64歳以下の年代では「子どもを産み、育てやすいまちづくり」が最も高くなっており、特に30歳代は5割を超えています。一方、65歳以上の年代では「高齢者や障がい者が安心して暮らせるまちづくり」が最も高く、70歳以上は5割台半ばとなっています。



(4) 地区別

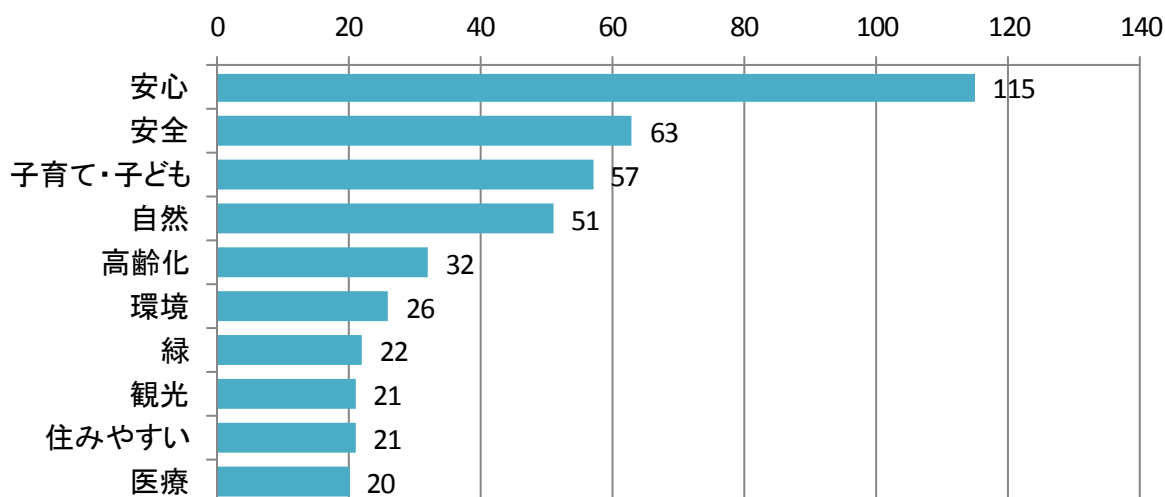
すべての地区において、「子どもを産み、育てやすいまちづくり」、「高齢者や障がい者が安心して暮らせるまちづくり」の割合が高くなっています。笹神地区では、他の地区と比較して「農林業を育てるまちづくり」が高くなっています。



問7 阿賀野市のこれからのまちづくりの姿（都市像）を考えるとときに、思い浮かぶ単語（キーワード）は何ですか。（自由記載）

（1）単純集計【全体】

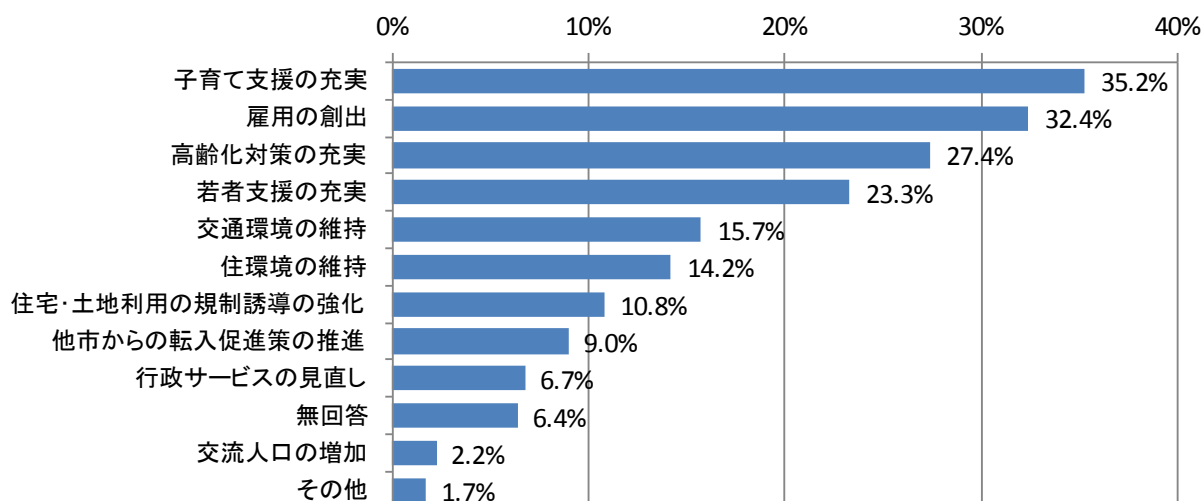
「安心」が最も多く、次いで「安全」、「子育て・子ども」の順となっています。
「問6 阿賀野市のこれからのまちづくりで、どのようなイメージのまちが望ましいと思いますか。」で上位であった「子どもを産み、育てやすいまちづくり」、「高齢者や障がい者が安心して暮らせるまちづくり」、「安心安全なまちづくり」に関連する単語（キーワード）となっていることが見てとれます。



問8 国等の推計によると、阿賀野市の人口は今後 30 年間で、約 1 万 4 千人減少し、3 万人程度になるといわれています。
 このような人口予測を踏まえて、今後、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

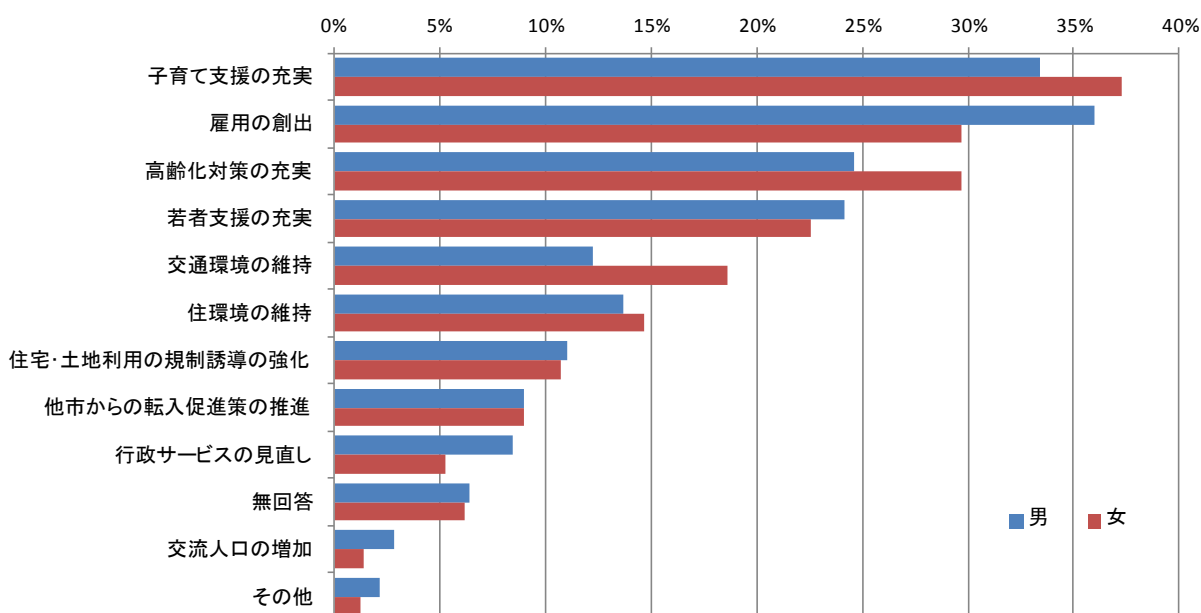
(1) 単純集計【全体】

「子育て支援の充実」が 35.2% で最も高くなっています。次いで、「雇用の創出」が 32.4%、「高齢化対策の充実」が 27.4% となっています。



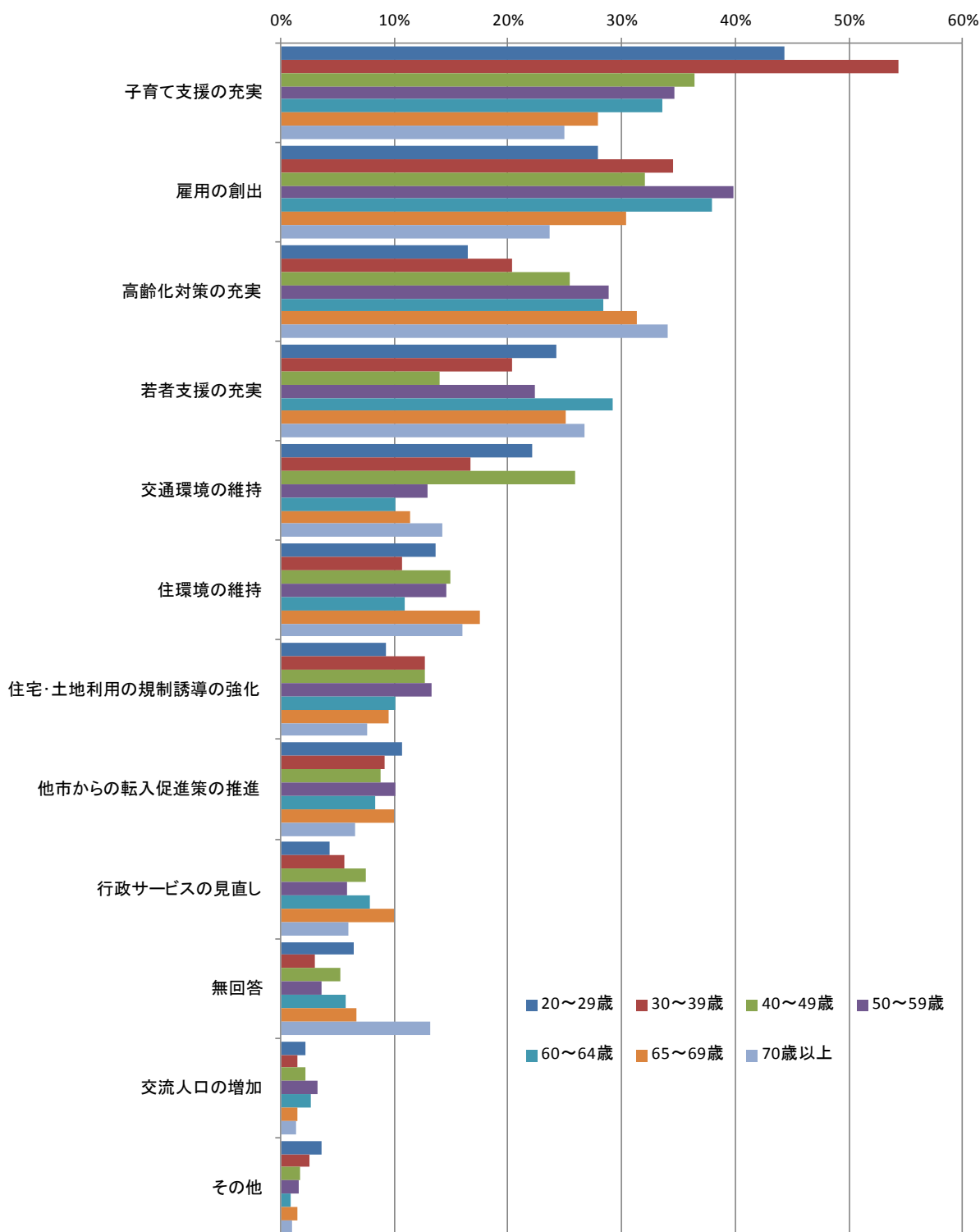
(2) 性別

男性では「雇用の創出」が最も高くなっていますが、女性では単純集計と同じ「子育て支援の充実」が最も高くなっており、順位が入れ替わっています。



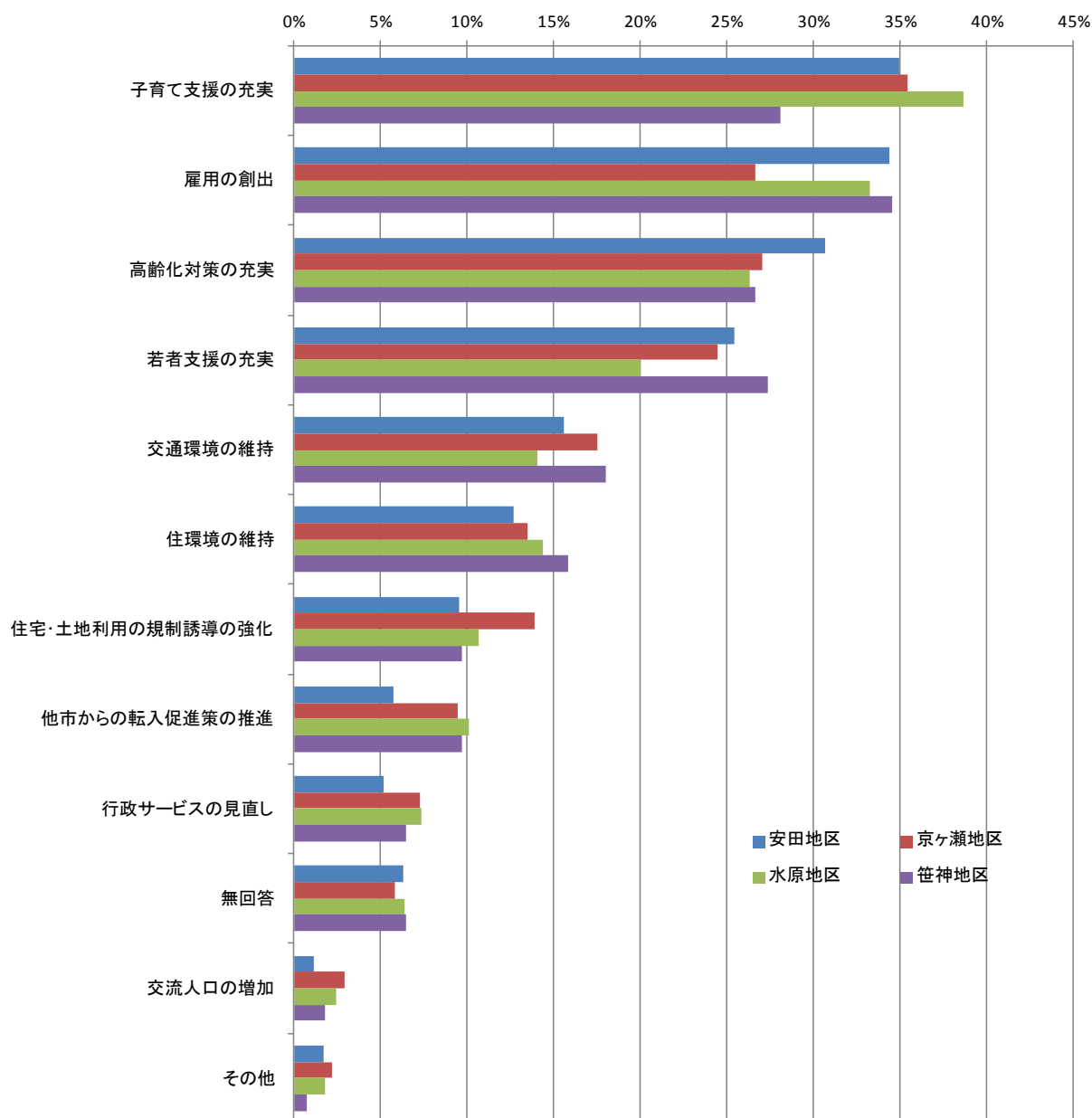
(3) 年齢別

20～49歳の各年代では「子育て支援の充実」が最も高くなっており、特に30歳代は5割を大きく超えています。一方、65歳以上の年代では「高齢化対策の充実」が最も高くなっています。「問6 阿賀野市のこれからのまちづくりで、どのようなイメージのまちが望ましいと思いますか。」の回答内容と同じ傾向が見られます。



(4) 地区別

地区別では、「子育て支援の充実」の割合が最も高いのが水原地区 38.6%で、最も低い笹神地区 28.1%との差が 10%以上あります。これは、高齢化率の違いによるもので、(3) 年齢別の回答傾向が現れているものと考えられます。また、「雇用の創出」については、京ヶ瀬地区が他の地区と比較して低くなっています。



IV 調査票

最初にあなたご自身のことについて、お聞きします。

①. あなたの性別は？

1. 男 2. 女

②. あなたの年齢（年代）は？（○は1つ）

1. 20～29 歳 2. 30～39 歳 3. 40～49 歳
4. 50～59 歳 5. 60～64 歳 6. 65～69 歳
7. 70 歳以上

③. あなたのお住まいの地区はどこですか？（○は1つ）

1. 安田地区 2. 京ヶ瀬地区
3. 水原地区 4. 笹神地区

④. あなたの主な職業は？（○は1つ）

1. 農林水産業
2. 商業・工業・サービス業等の自営業、会社役員
3. 会社員・公務員など
4. パートタイマー、アルバイトなど
5. 家事専業
6. 学生
7. 無職
8. その他（ ）

⑤. あなたの同居家族の人数は？（あてはまる人数を記入）

1. ご家族の人数は（ ）人
2. ご家族の中に65歳以上の方が（ ）人
3. ご家族の中に18歳以下の方が（ ）人

⑥. あなたの同居家族の構成は？（○は1つ）

1. 自分だけ 2. 夫婦だけ（一世代）
3. 親と子（二世帯） 4. 親と子と孫（三世帯）
5. その他

⑦. 阿賀野市での居住年数（合併前を含む）は？（○は1つ）

1. 3年未満 2. 3年以上5年未満
3. 5年以上10年未満 4. 10年以上20年未満
5. 20年以上 6. 生まれてからずっと

総合計画に関することについて、お聞きします。

問1. あなたは、阿賀野市を住みやすいところだと思いますか。(〇は1つ)

1. 住みやすい
2. どちらかといえば住みやすい
3. どちらかといえば住みにくい
4. 住みにくい
5. どちらとも言えない

問2. 10年前に阿賀野市が誕生いたしました。以前(10年前)と比べて、阿賀野市は住み良いまちになりましたか。(〇は1つ)

1. 住み良くなった
2. やや住み良くなった
3. 変わらない
4. やや住みにくくなった
5. 住みにくくなった
6. 10年前は住んでいなかったのでわからない

問3. あなたは、これからも阿賀野市に住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)

1. これからも住み続けたい
2. 阿賀野市の近隣市町村に移りたい
3. 2以外の市町村に移りたい
4. わからない

住み続けたいと思う理由は何ですか。
(〇は3つまで)

1. 通勤、通学に便利だから
2. 買い物などの日常生活が便利だから
3. 公共交通機関の便が良いから
4. 希望する職場があるから
5. 医療機関が充実しているから
6. 福祉対策が充実しているから
7. 教育環境が充実しているから
8. 余暇を楽しむ環境が整っているから
9. 子育て環境が充実しているから
10. 隣近所の人間関係が良いから
11. 市に発展性・将来性があるから
12. 土地柄になじんでいる・住み慣れているから
13. その他 ()

市外に転居したいと思う理由は何ですか。
(〇は3つまで)

1. 通勤、通学に不便だから
2. 買い物などの日常生活が不便だから
3. 公共交通機関の便が悪いから
4. 希望する職場がないから
5. 医療機関が充実していないから
6. 福祉対策が充実していないから
7. 教育環境が充実していないから
8. 余暇を楽しむ環境が整っていないから
9. 子育て環境が充実していないから
10. 地域の行事や近所づきあいが面倒だから
11. 市の発展性・将来性が感じられないから
12. 土地柄になじめないから
13. その他 ()

問4. あなたが、阿賀野市の魅力として誇れるもの、大切にしたいものは何ですか。
(〇は3つまで)

1. 緑が多く、自然が豊かである
2. 人情味があり、人間関係が良好である
3. 歴史や伝統がある
4. 落ち着きと安らぎがある
5. 農産物や林産物に恵まれ、おいしい食品が多い
6. 災害が少なく安心して生活できる
7. 公害が少なく居住環境が良好である
8. 交通の便がよい
9. 地場産業が盛んである
10. 観光資源に恵まれている
11. ゆとりある住まい、宅地に恵まれている
12. その他（具体的に： _____)
13. 特にない

問5. 下の表に示した各項目は、市が取り組んでいる項目ですが、それぞれの項目について、あなた自身はどのくらい満足しているか。また、どのくらい重要だと思っているか。満足度、重要度それぞれについて、1～6の中からあてはまるものを**1つ**選び〇をつけてください。

項目	満足度					
	満足	ある程度満足	どちらともいえない	少し不満	不満	わからない
例) 〇〇の振興	1	2	3	4	5	6
1. 高齢者福祉 高齢者が地域の中で、生きがいを持ち、自立して生活しやすい支援が整っている。	1	2	3	4	5	6
2. 障がい者福祉 障がいを持つ人が、安心して生活を送ることができる支援が整っている。	1	2	3	4	5	6
3. 子育て支援 子どもを安全に安心して育て暮らせる支援が整っている。	1	2	3	4	5	6
4. 地域での支えあい 地域において、子育てや高齢者・障がい者を支えていく環境が整っている。	1	2	3	4	5	6

重要度	重要度					
	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	わからない
例) 〇〇の振興	1	2	3	4	5	6
1. 高齢者福祉	1	2	3	4	5	6
2. 障がい者福祉	1	2	3	4	5	6
3. 子育て支援	1	2	3	4	5	6
4. 地域での支えあい	1	2	3	4	5	6

項目	満足度					
	満足	ある程度満足	もう少し満足	少し不満	不満	わからない
5. 健康づくり 健康相談・健康診断などの病気に対する予防対策が充実しており、健康を維持・増進できる体制が整っている。	1	2	3	4	5	6
6. 医療体制 安心して暮らせる地域医療体制が整っている。	1	2	3	4	5	6
7. 児童・生徒の安全と少子化対応 児童・生徒に対する安全対策が充実しており、少子化に対応した教育環境（学校規模の適正化）が整っている。	1	2	3	4	5	6
8. 幼稚園、小・中学校教育 児童・生徒の学力向上や心の教育、国際理解教育などの教育環境が整っている。	1	2	3	4	5	6
9. 幼稚園、小・中学校の課題対応 学校評議員による学校評価、介助員や教育相談員の配置、教職員への研修の実施により、学校が抱える様々な課題への対策が充実している。	1	2	3	4	5	6
10. 生涯学習 生涯にわたって学習することができる環境が整っている。	1	2	3	4	5	6
11. こどもの健全育成 健全なる青少年育成のための取り組みが行われている。	1	2	3	4	5	6
12. 芸術・文化 身近な場所において、芸術・文化に接し、芸術・文化活動に参加できる環境が整っている。	1	2	3	4	5	6
13. スポーツ 生涯にわたってスポーツに取り組める施設環境整備やスポーツ参加機会が充実している。	1	2	3	4	5	6
14. 防災・救急 防災・救急体制が整っている。	1	2	3	4	5	6

重要度						
重要	やや重要	重要でない	重要でない	重要でない	重要でない	わからない
1	2	3	4	5	6	6
1	2	3	4	5	6	6
1	2	3	4	5	6	6
1	2	3	4	5	6	6
1	2	3	4	5	6	6
1	2	3	4	5	6	6
1	2	3	4	5	6	6
1	2	3	4	5	6	6
1	2	3	4	5	6	6
1	2	3	4	5	6	6

項目	満足度					
	満足	ある程度満足	どちらのともいえない	少し不満	不満	わからない
15. 防犯・交通安全 犯罪防止や交通安全のための取り組みが行なわれている。	1	2	3	4	5	6
16. 消費生活 消費者の苦情や相談に対する適切な指導・相談体制が整っている。	1	2	3	4	5	6
17. ゴミ・リサイクル・省エネ リサイクルが促進され、ごみの発生量の減少を目指し、快適な住環境の実現のための取り組みが行われている。	1	2	3	4	5	6
18. 農業経営・担い手 農業経営の改善と担い手の育成のための取り組みが行われている。	1	2	3	4	5	6
19. 農業生産基盤 農業生産の向上を図るためのほ場や農道の整備、優良農地の確保のための取り組みが行われている。	1	2	3	4	5	6
20. 農産物の安定供給・地産地消 生産から流通・販売までの生産体制を考慮した農産物の安定供給や地産地消、特産品の開発・生産のための取り組みが行われている。	1	2	3	4	5	6
21. 林業 林業振興と森林育成のための取り組みが行われている。	1	2	3	4	5	6
22. 商工業 商工業振興のための取り組みが行われている。	1	2	3	4	5	6
23. 観光 観光振興のための取り組みが行われている。	1	2	3	4	5	6
24. 企業誘致 企業誘致のための取り組みが行われている。	1	2	3	4	5	6

重要度					
重要	やや重要	どちらのともいえない	あまり重要でない	重要でない	わからない
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6

項目	満足度					
	満足	ある程度満足	多少の不満足	不満	わからない	
25. 都市整備 調和のとれた都市整備が行なわれている。	1	2	3	4	5	6
26. 居住環境 良好な居住環境が形成されている。	1	2	3	4	5	6
27. 水とみどり 公園や緑地が適切に整備・保全されている。	1	2	3	4	5	6
28. 道路 生活に身近な道路網が整備されており、利便性・安全性の向上が図られている。	1	2	3	4	5	6
29. 公共交通機関 公共交通機関の機能が充実しており、利便性の向上が図られている。	1	2	3	4	5	6
30. 上水道 いつでも安心して水道水を利用することができる環境が整っている。	1	2	3	4	5	6
31. 下水道 下水道が整備されており、水質保全や環境改善が図られている。	1	2	3	4	5	6
32. 治山・治水 河川の整備をはじめ、災害防止のための治山・治水対策が行なわれている。	1	2	3	4	5	6
33. コミュニティ 地域の人が積極的に交流し、地域の課題を自ら把握して課題の解決に向けた取り組みを行える環境が整っている。	1	2	3	4	5	6
34. 交流 市民が主体となり、地域間交流や国際交流が行なわれている。	1	2	3	4	5	6
35. 男女共同参画 男女が性別にとらわれずお互いを尊重しながら、ともに社会のあらゆる分野に参画できるための取り組みが行われている。	1	2	3	4	5	6
36. 市民参画 様々な分野・場面において、市民参加・参画する機会が充実している。	1	2	3	4	5	6

重要度					
重要	やや重要	重要でない	あまり重要でない	わからない	
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6

項目	満足度						重要度					
	満足	ある程度満足	まあまあ満足	少し不満	不満	わからない	重要	やや重要	まあまあ重要	あまり重要	重要でない	わからない
37. 行政改革 限られた財源を最適に配分し、最小の経費で最大の効果を生む効率的な行財政運営が行なわれている。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
38. 職員管理 複雑化・多様化している行政需要に対応した効率的な組織運営や適正な人事管理が行なわれている。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
39. 電子自治体 情報技術を活用した効率的な行政運営が行なわれている。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
40. 財政 中長期的な展望による健全なる財政運営が行なわれている。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
41. 近隣自治体との連携 近隣自治体などと連携した広域的な行政サービスが行なわれている。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

問6. 阿賀野市のこれからのまちづくりで、どのようなイメージのまちが望ましいと思いますか。(〇は2つまで)

1. 子どもを産み、育てやすいまちづくり
2. 高齢者や障がい者が安心して暮らせるまちづくり
3. 健康づくりを進めるまちづくり
4. 安心安全なまちづくり
5. 日常生活が便利なまちづくり
6. 生活環境のよいまちづくり
7. 教育環境のよいまちづくり
8. 生涯学習による心豊かなまちづくり
9. 文化や歴史、伝統を大切にするまちづくり
10. 農林業を育てるまちづくり
11. 商工業を育てるまちづくり
12. 観光的な魅力を増すまちづくり
13. 支えあいと連帯を育てるまちづくり
14. 市民参加のまちづくり
15. その他(具体的に: _____)

問7. 阿賀野市のこれからのまちづくりの姿（都市像）を考えると、思い浮かぶ単語（キーワード）は何ですか。

単語（キーワード）

問8. 国等の推計によると、阿賀野市の人口は今後30年間で、約1万4千人減少し、3万人程度になるといわれています。

このような人口予測を踏まえて、今後、どのようなことが必要だと思いますか。
阿賀野市の人口予測（推計）

（〇は2つまで）

【参考】

2010年

45,560人



2040年

31,809人（日本創生会議 推計）

33,172人（国立社会保障・人口問題研究所 推計）

1. 住環境の維持（空き家の有効活用や適正管理等の空き家対策）
2. 交通環境の維持（路線バスやコミュニティバス等の生活交通確保対策）
3. 高齢化対策の充実（医療サービス、福祉サービス、見守り、買い物弱者対策等）
4. 行政サービスの見直し（公共施設の再編・統廃合、事業の縮小等）
5. 子育て支援の充実（保育や教育の充実、経済的支援等）
6. 若者支援の充実（独身者の出会いの場創出、就業支援等）
7. 雇用の創出（起業支援、企業誘致）
8. 交流人口の増加（都市との交流、グリーンツーリズムの推進等）
9. 他市からの転入促進策の推進（家賃補助、住宅購入支援、まちのPR等）
10. 住宅・土地利用の規制誘導の強化
（住宅の供給、医療・福祉・買い物等の日常生活サービス機能の集約（コンパクトシティの推進）等）
11. その他（具体的に： _____ ）

問9. 新しい総合計画の策定にあたって、およそ10年後の阿賀野市の「望ましい姿」「目指すべき姿」「進むべき道すじ」「まち（都市）づくり」などについて、ご意見・ご提案がありましたら、**ご自由**にお書きください。